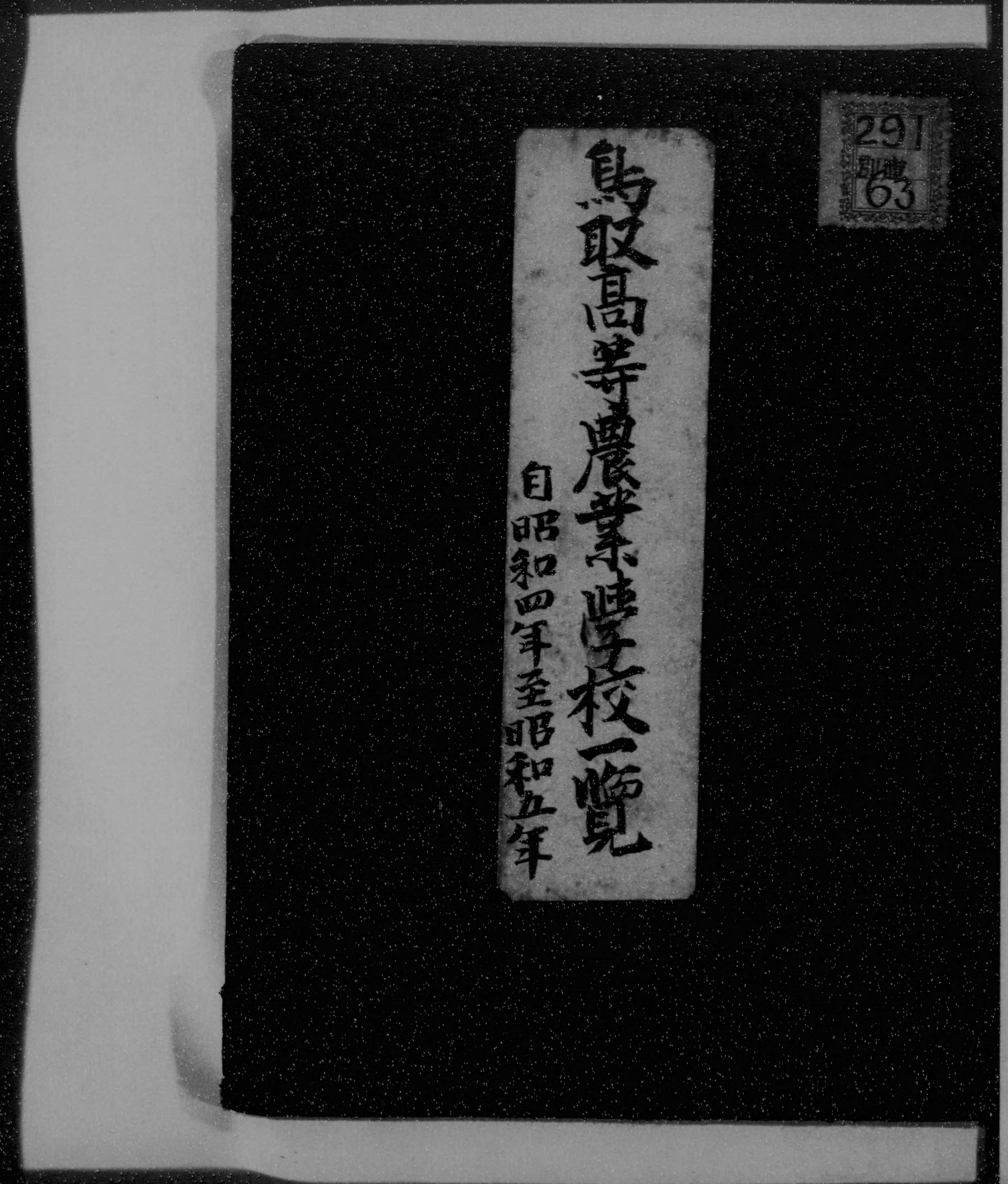


0052114003

0052114-003

２９１－６３

鳥取高等農業学校一覧

鳥取高等農業学校・編

鳥取高等農業学校

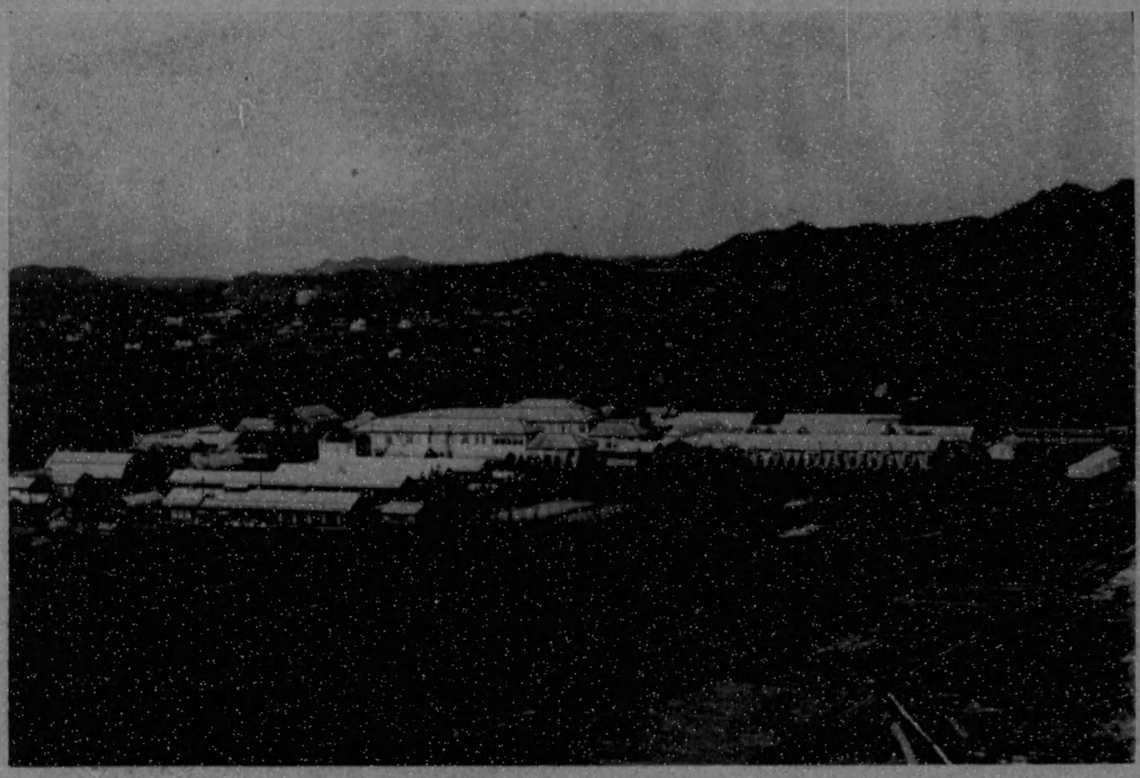
昭和２至３年一昭和５至６年，昭和７至８年，昭和９至１０年

昭和３－９

AHN

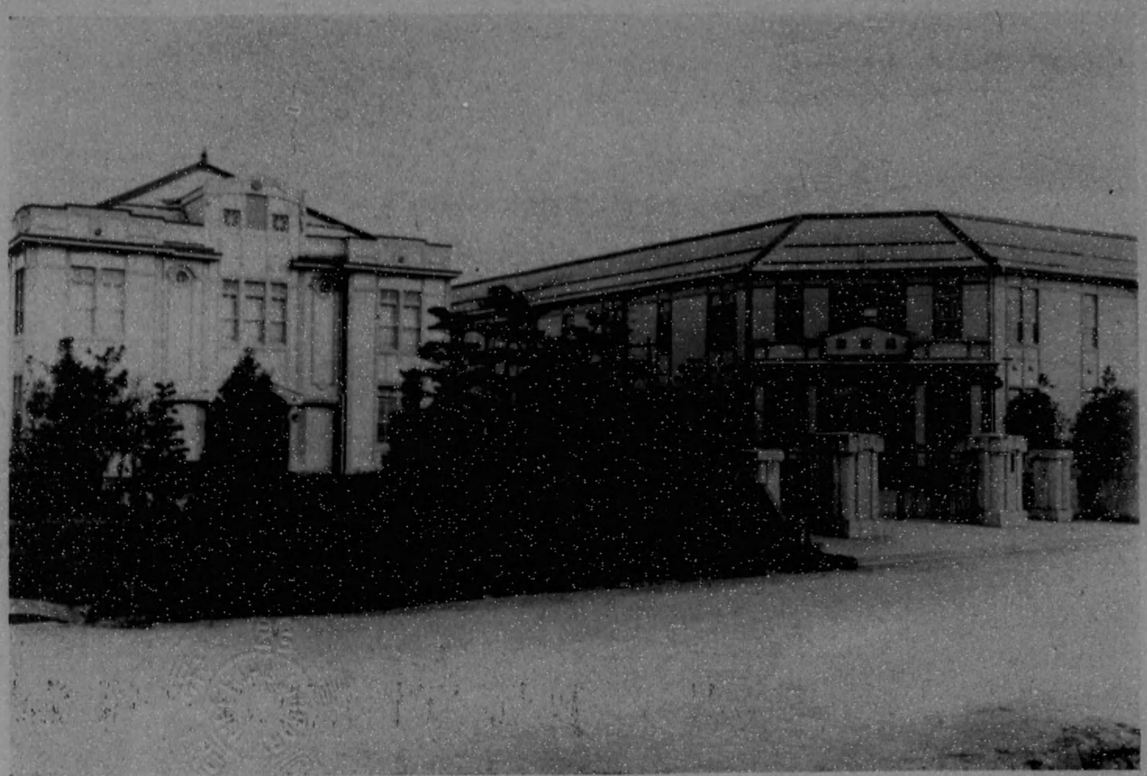
鳥取高等農業學校一覽

自昭和四年
至昭和五年



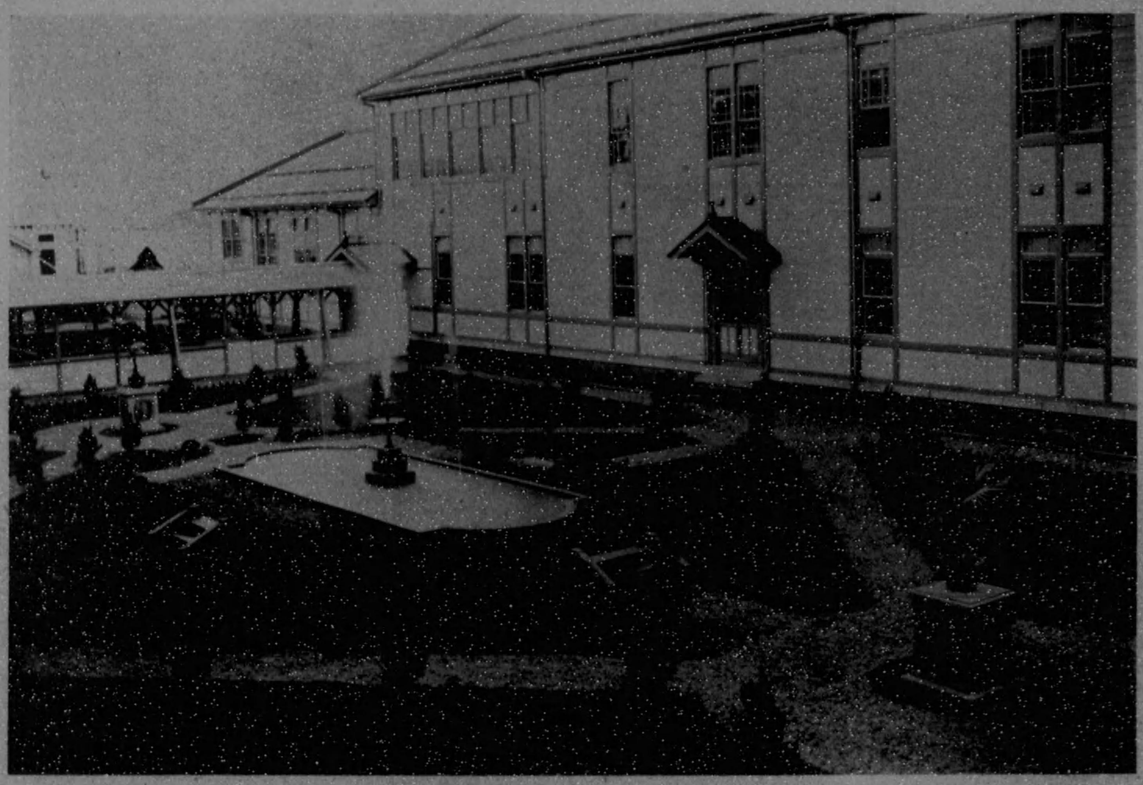
鳥取高等農業學校全景

鳥取高等農業學校全景



鳥取高等農業學校正面

鳥取高等農業學校正面



鳥取高等農業學校御大禮記念庭園

鳥取高等農業學校御大禮記念庭園

291-63

鳥取高等農業學校一覽

自昭和四年
至昭和五年

發行所寄贈本

目錄

第一章　沿革 …… 一
第二章　諸規則及細則 …… 五
第一　學年暦 …… 五
第二　鳥取高等農業學校規則 …… 七
第三　事務規程 …… 七
第四　文書處理規程 …… 二七
第五　職員服務心得 …… 三八
第六　當直規程 …… 四〇
第七　物品會計細則 …… 四二
第八　學校醫職務規程 …… 四六

第九　學生心得……五八
第十　總代規程……六〇
第十一　學生制服規程……六〇
第十二　寄宿舍規則……六四
第十三　寄宿科徵收規程……六八
第十四　通學生取締規則……六九
第十五　圖書館規則……七〇
第十六　實驗農場規程……七五
第十七　養蠶室規程……七七
第十八　養蠶實習規程……七八
第十九　非常手配規程……七九
第二十　清潔方法……八三
第二十一　守衛服務心得……八七
第二十二　常備人服務心得……八九
第二十三　常備人被服規程……九一
第二十四　參觀人心得……九三
第三章　職員……九五
第四章　學生及卒業生……一〇〇
第一　學生氏名……一〇〇
第二　卒業生氏名……一〇七
第三　學生年齡……一一八
第四　在學生府縣別調……一一九
第五　入學志願者及入學者數……一二三
第六　卒業生卒業後ノ狀況……一三三
第七　學生身體檢査統計……一三五

附　錄
鳥取高等農業學校校友會會則……一三六

鳥取高等農業學校一覽

第一章　沿革

○大正九年十一月二十六日勅令第五百五十一號ヲ以テ本校ノ設立ヲ公布セラレ同日勅令第五百五十二號ヲ以テ職員定員ヲ定メラル

○大正十年一月十日文部省內ニ本校事務所ヲ設置シ事務ヲ開始ス

一月十八日盛岡高等農林學校教授山田玄太郎校長ニ任セラル

二月八日文部省告示第四十一號ヲ以テ本校ノ位置ヲ鳥取市トシ大正十年四月ヨリ授業ヲ開始スル旨告示セラル

二月十日本校規則ヲ制定ス

二月二十五日文部省內本校事務所ヲ鳥取市ニ新設ノ本校內ニ移ス

三月二十八日ヨリ三日間本校及東京ニ於テ第一回入學試驗ヲ行ヘリ

四月四日農學科ニ四十名、農藝化學科ニ二十名入學ヲ許可セリ

四月十五日入學式ヲ行ヒ授業ヲ開始セリ
四月二十六日勅令第百七十號ヲ以テ職員ノ定員ヲ改正セラル
七月二十五日ヨリ二週間本校ニ於テ文部省主催ノ實業學校教員夏期講習會ヲ開催セラル
十月七日　天皇　皇后兩陛下ノ御眞影竝　皇太子殿下ノ御影ヲ下賜セラル
○大正十一年三月十八日ヨリ三日間本校及東京ニ於テ第二回入學試驗ヲ行ヘリ
三月二十三日農學科ニ四十一名、農藝化學科ニ三十二名入學ヲ許可セリ
四月二十八日開校式ヲ擧行ス文部大臣代理トシテ山崎實業學務局長臨場セラル
四月二十九日勅令第二百四十二號ヲ以テ職員ノ定員ヲ改正セラル
○大正十二年三月二十三日ヨリ三日間本校及東京、廣島ノ三ヶ所ニ於テ第三回入學試驗ヲ行ヘリ
三月二十八日農學科ニ三十九名、農藝化學科ニ二十九名入學ヲ許可セリ
五月八日勅令第二百二十九號ヲ以テ職員ノ定員ヲ改正セラル
○大正十三年三月十八日第一回卒業式ヲ擧行シ農學科三十一名、農藝化學科二十一名ニ卒業證書ヲ授與セリ
三月二十七日ヨリ三日間本校及東京、廣島ノ三ヶ所ニ於テ第四回入學試驗ヲ行ヘリ
三月三十一日農學科ニ四十名、農藝化學科ニ三十名入學ヲ許可セリ
八月四日ヨリ十日間第一回夏期講習會ヲ開キ講習員八十二名ニ講習證書ヲ授與セリ
○大正十四年三月十五日第二回卒業式ヲ擧行シ農學科三十四名、農藝化學科二十二名ニ卒業證書ヲ授與セリ
三月二十五日ヨリ三日間本校及東京、京都、廣島ノ四ヶ所ニ於テ入學試驗ヲ行ヘリ
三月三十日農學科ニ四十一名、農藝化學科ニ二十九名入學ヲ許可セリ
八月三日ヨリ六日間第二回夏期講習會ヲ開キ講習員三十七名ニ講習證書ヲ授與セリ
○大正十五年三月十五日第三回卒業式ヲ擧行シ農學科三十五名、農藝化學科二十六名ニ卒業證書ヲ授與セリ
三月二十五日ヨリ三日間本校及東京、京都、廣島ノ四ヶ所ニ於テ入學試驗ヲ行ヘリ
三月三十一日農學科ニ四十二名、農藝化學科ニ三十二名入學ヲ許可セリ

七月二十七日ヨリ八月三日迄本校ニ於テ文部省主催ノ夏期講習會ヲ開催セラル

○昭和二年三月十五日卒業式ヲ擧行シ農學科三十六名、農藝化學科二十七名ニ卒業證書ヲ授與セリ

三月二十日ヨリ三日間本校及東京、京都、廣島ノ四ヶ所ニ於テ入學試驗ヲ行ヘリ

三月二十五日農學科ニ三十八名、農藝化學科ニ二十六名入學ヲ許可セリ

八月一日ヨリ六日間本校ニ於テ第三回夏期講習會ヲ開キ講習員八十五名ニ講習證書ヲ授與セリ

十二月二十七日勅令第三百六十六號ヲ以テ職員ノ定員ヲ改正セラル

○昭和三年三月十五日卒業式ヲ擧行シ農學科三十六名、農藝化學科二十二名ニ卒業證書ヲ授與セリ

三月二十三日ヨリ二日間本校及東京、京都、廣島ノ四ヶ所ニ於テ入學試驗ヲ行ヘリ

三月二十七日農學科ニ四十一名、農藝化學科ニ三十名入學ヲ許可セリ

八月一日ヨリ六日間本校ニ於テ第四回夏期講習會ヲ開キ講習員六十七名ニ講習證書ヲ授與セリ

十月九日　天皇　皇后兩陛下ノ御寫眞ヲ下賜セラル

○昭和四年三月十五日卒業式ヲ擧行シ農學科四十名、農藝化學科二十六名ニ卒業證書ヲ授與セリ

三月十九日二十日二日間本校及東京、京都、廣島ノ四ヶ所ニ於テ入學試驗ヲ行ヘリ

三月二十三日農學科ニ四十一名、農藝化學科ニ三十名入學ヲ許可セリ

第二章　諸規則及細則

第一　學年曆

四月一日　第一學期授業始

四月三日　休業（神武天皇祭）

四月廿九日　式日（天長節）

七月二十日　第一學期授業終

七月廿一日　夏期休業始
九月十日　夏期休業終
九月十一日　第二學期授業始
秋分ノ日　休業（秋季皇靈祭）
十月十七日　休業（神嘗祭）
十一月三日　式日（明治節）
十一月廿三日　休業（新嘗祭）
十一月廿六日　式日（學校記念日）
十二月廿一日　冬期休業始
一月一日　式日（新年拜賀）
一月十六日　冬期休業終
二月十一日　式日（紀元節）
春分ノ日　休業（春季皇靈祭）

三月卅一日　第二學期終

第二　鳥取高等農業學校規則

第一章　總則

第一條　本校ハ實業學校令及專門學校令ニ依リ農業ニ須要ナル高等ノ學術技藝ヲ敎授シ併セテ人格ノ陶冶及國體觀念ノ養成ヲ目的トス

第二條　本校ニ農學科及農藝化學科ヲ置ク

第三條　各學科ノ修業年限ハ三箇年トス

第四條　本校ニ研究生及選科生ヲ置クコトアルヘシ

第二章　學年、學期、休業日

第五條　學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第六條　學年ヲ分チテ二學期トシ第一學期ハ四月一日ヨリ九月十日ニ至リ第二學期ハ九月十一日ヨリ翌年三月三十一日ニ至ル

第七條　休業日ハ左ノ如シ但シ休業中ト雖實習實驗ヲ課シ又ハ特別講義ヲ聽カシムルコトアルヘシ

一日　曜　日
一大祭祝日
一夏期休業　（自七月二十一日　至九　月　十　日）
一學校記念日　（十一月二十六日）
一冬期休業　（自十二月二十一日　至一月十六日）

第三章　學科目及其程度

第八條　各學科ノ學科目及其ノ程度ハ左ノ如シ但シ必要ノ場合ニ於テハ各學科目ノ毎週授業時數ハ修身ヲ除クノ外之ヲ增減スルコトアルヘシ

農學科

講義ノ部　（毎週教授時數）

學科目 ＼ 學年及學期	第一學年 第一學期	第一學年 第二學期	第二學年 第一學期	第二學年 第二學期	第三學年 第一學期	第三學年 第二學期
修身	一	一	一	一	一	一
作物學及育種學	二	二	二	二	二	二
園藝學						
畜產學						
畜產製造學						
養蠶學		二	二	二		
土壤學		二				
肥料學			二	二	二	二
農產製造學					三	三
農具學	二	二				
測量學及農業土木學	三	二				
物理學及氣象學	三	二				

化學及分析	三	二		一		
動物學及昆蟲學	三	三	二	二		
植物學及植物病理學	三	三	二	二		
實驗遺傳學			二			
鑛物學及地質學	二	二				
經濟學			二	二		
農業經營學			三	三		
農業政策					二	二
植民政策及植民地產業論					二	二
法學大意及農業法規					二	二
英語	三	三	三	三	二	二
體操	二	二	二	二	二	二

造園學					(一)	(一)
家畜榮養學					(二)	
植物榮養學						(二)
應用菌學					(二)	
林學大意					(二)	(二)
獸意學大意					(二)	(二)
教育學					(一)	(一)
獨逸語					(三)	(三)
動物學特別講義					(五)	(五)
植物學特別講義					(五)	(五)
計	二七	二八	二七	二六	二二(二三)	二二(二一)

實習實驗ノ部

(每週教授時數)

學科目 ＼ 學年學期	第一學年 第一學期	第一學年 第二學期	第二學年 第一學期	第二學年 第二學期	第三學年 第一學期	第三學年 第二學期
農場實習	九	六	九	六		
作物學及園藝學實驗			三	三		
養蠶實習			無定時	無定時		
畜產學實驗					三	
農產製造學實習					無定時	無定時
畜產製造學實習					無定時	無定時
化學實驗				三		
農學實驗及演習					(三)	(三)
動物學昆蟲學及養蠶學實驗					(三)	(三)
植物學及植物病理學實驗	三	三	三	三		

測量學及農業土木學實習　三　三

特殊實驗又ハ農政經濟演習　六　六

農藝化學科

（每週教授時數）

講義ノ部

學科目 ＼ 學年學期	第一學年 第一學期	第一學年 第二學期	第二學年 第一學期	第二學年 第二學期	第三學年 第一學期	第三學年 第二學期
修身	一	一	一	一	一	一
土壤學		二	二	二	二	二
肥料學			二	二	二	二
農產製造學					三	三
畜產製造學					二	二
作物學			二	二	二	二

園藝學	畜產學	家畜榮養學	農業工學	數學	物理學及氣象學	機械學	無機化學	有機化學	分析化學	生物化學	食品化學
					三		四	二			
					三		二	二			
二						二		三	一		
二	二								一	三	
										三	
	一										
	一										

物理化學	農業藥物學	工業化學	鑛物學及地質學	動物學	植物學	應用菌學	醱酵生理學	經濟學	農業經營學	法學大意及農業法規	英語
三			二	三	三						三
三			二	三	三						三
二								二	三		三
二						二		二	三		三
二	二				一						二
二	二				一						二

學科目 ＼ 學年學期	第一學年 第一學期	第一學年 第二學期	第二學年 第一學期	第二學年 第二學期	第三學年 第一學期	第三學年 第二學期
體操	二	二	二	二	二	二
養蠶學					(二)	(二)
植物病理學					(二)	(二)
農業政策					(二)	(二)
植民政策及植民地產業論					(二)	(二)
教育學					(一)	(一)
獨逸語					(三)	(三)
農藝化學特別講義					(一)	(一)
計	二七	二七	二七	二七	二一(一二)	二一(一三)

實習實驗ノ部

（每週教授時數）

學科目 ＼ 學年學期	第一學年 第一學期	第一學年 第二學期	第二學年 第一學期	第二學年 第二學期	第三學年 第一學期	第三學年 第二學期
化學實驗	三	一二	一二	一四		
物理學實驗			三			
地質學及土壤學實驗				三		
應用菌學實驗					三	
動物學實驗					三	
植物學實驗			三			
農場實習			九	六		
農產製造學實習					無定時	無定時
畜產製造學實習					無定時	無定時
農業工學實習			三			
特殊實驗						一七

備考　授業時數中括弧ヲ附スルモノハ選擇科目ノ時數ニシテ選擇科目ハ二科目以上ヲ

選修セシム

農學科第三學年ニ於テ動物學特別講義又ハ植物學特別講義ヲ選修スルモノニハ動物學實驗又ハ植物學實驗ヲ課ス

農學科第三學年ニ於テ動物學特別講義又ハ植物學特別講義ヲ選修セサルモノニハ農學實驗及演習ヲ課ス

農學科各學年ニハ夏期休業中休業日數ノ約半數ニ亘ル農場實習ヲ課ス

農藝化學科第一學年ニハ夏期休業中休業日數ノ約半數ニ亘ル農場實習ヲ課ス

第四章　入學、在學、休學、退學

第九條　入學ノ期ハ每學年ノ始メトス但シ臨時入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第十條　入學ヲ許可スヘキ者ハ品行方正志望鞏固ナル男子ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當シ且入學檢定及身体檢査ニ合格シタル者タルヘシ

一、中學校ヲ卒業シタル者

二、專門學校入學者檢定規程ニ依ル試驗檢定ニ合格シタル者

三、實業學校ヲ卒業シタル者但シ尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年若ハ之ト同等以上ノ學校ヲ卒業シタル者

四、前號ニ該當スル者ノ外專門學校入學者檢定規程第十一條ニ依リ一般專門學校ノ入學ニ關シ無試驗檢定ノ指定ヲ受ケタル者

第十一條　前條第一號第三號及第四號ニ該當スル學校ノ在學者ニシテ當該學年三月末日迄ニ卒業スヘキ見込アル者ハ當該學校長ノ證明ヲ得テ入學ヲ願出ツルコトヲ得

第十二條　入學檢定ハ志願者ノ入學前ニ於ケル學業成績ノ考査、試驗檢定、身體檢査及口頭試問ニ依リ之ヲ行フ但シ第十條第四號該當者ニ對シテハ當該檢定ノ成績ヲ以テ入學前ノ學業成績ト看做ス

第十三條　試驗檢定ハ英語、數學、物理、化學、動物、植物ノ中四學科目以内ニ就キ中學校卒業程度ニ依リ之ヲ行フ但シ其ノ學科目ハ學生募集ノ都度之ヲ公示ス

第十四條　第十條第一號又ハ第三號ノ卒業者ニシテ在學中最終ノ二學年間ノ學業成績ノ順

位全數ノ十分ノ一以内ニ在リテ卒業ノ翌年度ヲ經過セサル者無試驗檢定ニ依リ入學ヲ出願スルトキハ體格檢查及口頭試問ヲ行ヒテ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

前項ノ學校在學者ニ在リテハ最終學年ノ第一學期及第二學期ノ平均學業成績ノ順位ヲ以テ最終學年ノ順位ト看做ス

第十五條　無試驗檢定ニ依リ入學ヲ許可スヘキ人員ハ各學科募集人員ノ三分ノ一以内トス

無試驗檢定出願者ニシテ入學ヲ許可セラレサル者ハ試驗檢定ヲ受クルコトヲ得但シ此ノ場合ニハ更ニ第十七條ノ書類及入學檢定料ヲ要セス

第十六條　入學檢定料ハ金五圓トス入學願票ト共ニ納付スヘシ

入學檢定料ハ一旦納付ノ後ハ何等ノ事由アリト雖之ヲ返付セス

第十七條　入學志願者ハ本校交付ノ入學願票ニ所要事項ヲ記入シ當該學校長ノ卒業證明書（若ハ卒業見込證明書又ハ專門學校入學者試驗檢定合格證明書）寫眞（入學出願前六箇月以内ニ撮影シタル脫帽半身手札形）ヲ添ヘ本校ニ差出スヘシ

第十八條　入學ノ許可ヲ得タル者ハ十日以内ニ身元引受人ノ連署ヲ以テ左式ノ證書及戸籍

謄本ヲ差出スヘシ

印紙　㊞

證書

私儀今般御校へ入學許可相成候ニ付テハ御規則堅ク相守リ猥リニ退學等致間敷候仍テ身元引受人連署ヲ以テ證書差出候也

年　月　日

本籍
住所
族籍　戸主又ハ誰何男弟等
氏名　印
年月日生

本籍
住所
族籍　本人トノ關係
身元引受人　氏名　印
年月日生

鳥取高等農業學校長　氏名殿

第十九條　本校學生ハ學校長ノ許可ヲ經ルニアラサレハ他ノ學校ニ入リ又ハ他ノ學校若ハ官署ニ於ケル各種ノ試驗ニ應スルコトヲ得ス

第二十條　學生疾病又ハ事故ニ依リ缺席シタル者ハ三日以內ニ其ノ旨届出ツヘシ但シ疾病ノ爲缺席五日以上ニ亘ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

第二十一條　學生疾病又ハ事故ニ依リ二箇月以上修學スルコト能ハサルトキハ詮議ノ上該學年間休學ヲ許可スルコトアルヘシ但シ疾病ノトキハ該願書ニ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

第二十二條　休學ノ許可ヲ得タル者ハ次學年ヨリ其ノ原級ニ復スルモノトス但シ休學期間ト雖其ノ事故消滅シタルトキハ出願ニヨリ詮議ノ上休學ヲ解除スルコトアルヘシ

第二十三條　學生疾病又ハ事故ニ依リ退學セント欲スルトキハ其ノ事由ヲ具シ願出ツヘシ但シ疾病ノトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

第二十四條　學生左ノ各號ノ一ニ當ル者ハ學籍ヲ除名ス

一、無届ニテ二箇月以上引續キ缺課シタル者

二、學業不進歩ニシテ成業ノ見込ナシト認ムル者

三、授業料ノ滯納二週日ニ亘ル者

第二十五條　學生校規命令ニ違背シ其ノ他學生タルノ本分ヲ失フ者ハ其ノ輕重ニ依リ戒飾停學又ハ放校ニ處スヘシ

第五章　特待生

第二十六條　學術優等品行方正ナル學生ヲ選拔シ特待生トナス

特待生ニハ授業料ヲ徵收セス

第二十七條　特待生其ノ資格ヲ失フト認ムルトキハ直ニ之ヲ免ス

第六章　試驗、卒業、稱號

第二十八條　試驗ヲ分チテ臨時試驗及定期試驗ノ二種トス

第二十九條　臨時試驗ハ學年中教員ノ見込ヲ以テ臨時ニ之ヲ行ヒ定期試驗ハ學期ノ終ニ於テ之ヲ行フモノトス

第三十條　試驗ハ口述、筆記又ハ實驗ヲ以テ之ヲ行ヒ其ノ成績ヲ按シ之ニ評點ヲ附シ一科

目一百點ヲ最高點トス

第三十一條　實習點ハ一學年間ノ成績ヲ按シ一百點ヲ以テ最高點トス

第三十二條　各學科目學年評點ハ各試驗評點ノ和ヲ其ノ試驗回數ヲ以テ除シタルモノトス

第三十三條　學年ノ成績ハ試驗ノ成績平素ノ成績及勤惰行狀等ヲ參酌シテ之ヲ定メ其ノ及落ヲ決ス

第三十四條　正當ノ事由アリテ試驗ニ缺席シタル者ニ對シテハ詮議ノ上追試驗ヲ行フコトアルヘシ但シ平素ノ成績ノミヲ考査シテ之ヲ定ムルコトヲ得

第三十五條　第三學年ノ終ニ於テ卒業論文ヲ提出セシム

第三十六條　第三學年ノ試驗ニ及第シ卒業論文適當ナリト認メタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス

第三十七條　本校卒業生ハ農學得業士ト稱スルコトヲ得

第七章　服制

第三十八條　學生ハ本校制定ノ被服ヲ着用スヘシ但シ實習實驗ノ際特別ノ服裝ヲ要スル場合ハ前項ノ限ニアラス

第八章　研究生

第三十九條　本校卒業生ニシテ既修ノ學科目ニ就キ更ニ研究セント欲スル者ニハ出願ニ依リ二箇年以内研究生トシテ在學ヲ許可スルコトアルヘシ

第四十條　研究生ハ在學期ノ終ニ於テ研究報文ヲ作リ指導教員ヲ經テ之ヲ學校長ニ提出スヘシ

第四十一條　研究報文ノ成績適當ナリト認メタル者ニハ研究證書ヲ授與ス

第九章　選科生

第四十二條　各學科ノ學科目中一科目若ハ數科目ヲ選擇專修セントスル者アルトキハ選科生トシテ在學セシムルコトアルヘシ

第四十三條　選科生ハ教授上差支ナキ場合ニ限リ資格詮衡ノ上入學ヲ許可スルモノトス

第四十四條　選科生ニシテ修學中ノ成績適當ナリト認メタル者ニハ修了證書ヲ授與ス

第十章　授業料

第四十五條　授業料ハ一學年金八拾圓トシ第一學期金參拾五圓第二學期金四拾五圓ニ分チ毎學期ノ始メニ於テ之ヲ徴收ス

研究生ニハ之ヲ徴收セス

選科生ハ一學科目一學期金五圓トシ八學科目以上ノトキハ本科生ニ準シ毎學期ノ始メニ於テ之ヲ徴收ス

第四十六條　本科學生中卒業後實業學校ノ教職ニ從事セントスル志望確實ナル者ニ對シテハ願ニ依リ授業料ヲ免除スルコトアルヘシ

前項ニ依リ授業料ヲ免除セラレタル者ハ卒業ノ日ヨリ其ノ免除セラレタル期間ノ二分ノ一實業學校ノ教職ニ從事スル義務アルモノトス

第四十七條　授業料ハ一旦納付ノ後ハ何等ノ事由アリト雖之ヲ返付セス

第四十八條　停學ヲ命シ若ハ休學ヲ許可シタル者ハ次期ヨリ授業料ヲ徴收セス

第四十九條　休學又ハ停學ヲ解除シタルトキ若ハ特待生ヲ免セラレタルトキハ其ノ期ヨリ授業料ヲ徴收ス

第五十條　授業料ハ定日ニ納付スヘシ其ノ定日以後ニ入學シタル者ハ入學許可ノ日ヨリ十日以內ニ之ヲ納ムルモノトス

第五十一條　授業料ヲ定日ニ納付セサルトキハ之ヲ催告シ尙納付ヲ怠ルトキハ第二十四條ニ依リ處分ス

附則

第五十二條　第四十五條ハ昭和四年度入學者ヨリ之ヲ適用シ昭和三年以前ノ入學者ニ對シテハ仍從前ノ規定ニ依ル

第三　事務規程

第一章　總則

第一條　校務ヲ處理スル爲メ本校ニ庶務課、會計課、教務課、學生課、農學科、農藝化學科、圖書館、實驗農場及標本室ヲ置ク

第二條　各部局ニ長ヲ置キ標本室ニ主事ヲ置ク

第三條　科長、圖書館長、實驗農場長、主事ハ教官ヲ以テ之ニ充テ課長ハ書記又ハ教官ヲ以

テ之ニ充テ學生課長ハ生徒主事ヲ以テ之ニ充ツ

第四條　校務ハ總テ學校長ノ決裁ヲ經ルニアラサレハ施行スルコトヲ得ス但シ事ノ輕易ニシテ先例アルモノハ各部長ニ於テ之ヲ專行スルコトヲ得

第五條　各部局長ハ其ノ名ヲ以テ相互ニ文書ノ往復ヲナスコトヲ得

第六條　各部局長ハ學校長ノ命ヲ受ケ所管ノ事務ヲ掌理シ所屬職員ノ勤怠ヲ監督シ意見アルトキハ學校長ニ具申スヘシ

第七條　各部局長ニ事故アリテ執務スルコト能ハサルトキハ所屬首席者其ノ事務ヲ代理スル但シ時宜ニ依リ特ニ代理ヲ命スルコトアルヘシ

第八條　所屬ノ職員ハ上官ノ指揮ヲ受ケ事務ヲ處理シ取扱事項ニ關シ其ノ責ニ任ス

第九條　主管事務ニシテ他ノ部局ト關聯スルトキハ總テ合議スヘシ

第十條　事務ノ所屬不明ナルーキハ上官ノ指定ヲ受ケ之ヲ處理スヘシ

第二章　分掌

第十一條　庶務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一、御眞影及勅語ニ關スル事項
二、學校長ノ官印及學校印ノ監守ニ關スル事項
三、公文書類ノ接受、發送、審議、立案及其ノ整理保管ニ關スル事項
四、記錄又ハ學校一覽編纂ニ關スル事項
五、所得稅法第五十六條ノ調書提出ニ關スル事項
六、統計報告ニ關スル事項
七、儀式ニ關スル事項
八、官吏及雇員等ノ進退賞罰及身分ニ關スル事項
九、敍位及敍勳ニ關スル事項
十、規則ノ制定及命令傳達ニ關スル事項
十一、法律命令ノ加除訂正ニ關スル事項
十二、名簿、履歷書、出勤簿ニ關スル事項
十三、當直ニ關スル事項

十四、文書（學校長名ヲ署スルモノニ限ル）ノ淨書及印刷ニ關スル事項
十五、會議ニ關スル事項
十六、職員及學生ノ身分證明並ニ旅客運賃割引證交付ニ關スル事項
十七、庶務課ニ屬スル公文書類及物品ノ整理保管ニ關スル事項

第十二條　會計課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
一、學校經濟ニ關スル事項
二、經費及諸收入ノ豫算及決算ニ關スル事項
三、金錢ノ收支及保管ニ關スル事項
四、物品ノ購入及其ノ出納保管ニ關スル事項
五、官有財產及資金ノ監理ニ關スル事項
六、校舍ノ建築修繕ニ關スル事項
七、本校內外ノ掃除及除雪等ニ關スル事項
八、校舍校地ノ警備取締ニ關スル事項
九、傭人ノ進退賞罰取締ニ關スル事項
十、不用物品ノ處分ニ關スル事項
十一、電燈、電話、電鈴、水道、瓦斯ニ關スル事項
十二、會計課ニ屬スル公文書類ノ起草整理保管ニ關スル事項
十三、會計課ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項
十四、前各號ノ外會計ニ關スル一切ノ事項

第十三條　教務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
一、講堂、教室、學生控所、教具ノ設備保管ニ關スル事項
二、授業及學課ニ關スル事項
三、學生募集ニ關スル事項
四、學生ノ入學、退學、休學及學籍ニ關スル事項
五、試驗ニ關スル事項
六、教授會議ニ關スル事項

七、修學旅行及學事報告等ニ關スル事項
八、教務ニ屬スル文書ノ起案及整理保管ニ關スル事項
九、教務課ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項
十、參觀人ニ關スル事項
十一、前各號ノ外教務ニ關スル一切ノ事項

第十四條　學生課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
一、學生ノ訓育並ニ賞罰ニ關スル事項
二、學生ノ風紀取締ニ關スル事項
三、學生ノ衛生及體格檢査ニ關スル事項
四、學生ノ兵役ニ關スル事項
五、學生ノ集會及印刷物ニ關スル事項
六、寄宿學生ノ入退舍、外泊、入院、歸省及旅行ニ關スル事項
七、寄宿學生ノ寄留屆ニ關スル事項

八、學生ノ願屆等ニ關スル事項
九、寄宿舍ノ取締及管理ニ關スル事項
十、寄宿舍ノ炊事及出入商人ニ關スル事項
十一、學生課ニ屬スル公文書類ノ起草、整理、保管ニ關スル事項
十二、學生課及寄宿舍ニ屬スル物品ノ整理及保管ニ關スル事項
十三、前各號ノ外學生ニ屬スル一切ノ事項

第十五條　農學科ニ於テ監掌スル事項左ノ如シ
一、農學科ニ屬スル授業科目ノ教授ニ關スルコト
二、前號ノ學科目ニ伴フ建物試驗地物品ノ整理保管ニ關スルコト
三、教授要旨及教授細目ヲ整理スルコト
四、教授分擔ニ關スルコト
五、事業功程ニ關スルコト
六、前各號ノ外農學科ニ關スルコト

第十六條　農藝化學科ニ於テ監掌スル事項左ノ如シ

一、農藝化學科ニ屬スル授業學科目ノ教授ニ關スルコト

二、前號ノ學科ニ伴フ建物試驗地物品ノ整理保管ニ關スルコト

三、教授要旨及教授細目ヲ整理スルコト

四、教授分擔ニ關スルコト

五、事業功程ニ關スルコト

六、前各號ノ外農藝化學科ニ關スル事項

第十七條　修身ハ校長之ヲ監掌シ體操ハ生徒主事之ヲ監掌ス

第十八條　圖書館ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一、圖書ノ出納及保管ニ關スル事項

二、圖書ノ貸付ニ關スル事項

三、閱覽室ノ整理ニ關スル事項

四、圖書館ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項

第十九條　實驗農場ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一、農場ノ管理ニ關スル事項

二、農事實驗實習ニ關スル事項

三、家畜飼養管理ニ關スル事項

四、農產製造及畜產製造實習ニ關スル事項

五、養蠶實習ニ關スル事項

六、生產物處分ニ關スル事項

七、所屬建物、物品ノ管理保管ニ關スル事項

第二十條　標本室ニ於テハ標本室ニ於ケル標本ニ關スル一切ノ事項ヲ掌ル

第三章　會議

第二十一條　本校ニ教授會議及部局會議ヲ設ク

第二十二條　教授會議ハ校務上必要ナル事項ニ關シ學校長ノ諮問ニ應シ之ヲ審議ス

第二十三條　教授會議ノ議員ハ教授ヲ以テ之ニ充ツ但シ學校長ニ於テ必要ト認ムルトキハ

其ノ他ノ職員ヲ列席セシムルコトアルヘシ

第二十四條　學校長ハ教授會議ヲ召集シ其ノ議長トナル

第二十五條　教授會議員ハ校務ニ關シ會議ニ附セントスル事項アルトキハ學校長ニ提議スルコトヲ得

第二十六條　教授會議ノ記錄ハ教務課長之ヲ掌ル

第二十七條　部局會議ハ各部局ニ於テ監掌スル事項ニ關シ審議スルモノトス

第二十八條　部局會議ハ左ノ八ニ分ツ但シ關聯スル事項ニ付他ノ部局ト審議ヲ要スルトキハ聯合會ヲ開クコトアルヘシ

一、農學科
二、農藝化學科
三、庶務課
四、會計課
五、教務課

六、學生課
七、圖書館
八、實驗農場

第二十九條　部局會議ノ議員ハ其ノ所屬職員（助手ヲ除ク）ヲ以テ之ニ充ツ

第三十條　部局長ハ其ノ部局會議ヲ召集シ其ノ議長トナル聯合會議ニ於テハ上席部局長ヲ以テ議長トス

第三十一條　部局會議員ハ其ノ分掌事項ニ關シ本會ノ議ニ附セントスル意見アルトキハ之ヲ部局長ニ提議スルコトヲ得

第三十二條　部局會議ヲ開カントスルトキハ部局長ヨリ豫メ其ノ時日ヲ學校長ニ報告シ且必要ニ應シ臨席ヲ申請スヘシ

第三十三條　學校長ハ部局會議ニ於テ意見ヲ陳述シ又ハ必要ニヨリ諮問案ヲ發スルコトアルヘシ

第三十四條　部局會議ニ於テ決議セル事項ハ之ヲ學校長ニ報告スヘシ

第三十五條　部局會議ニ於ケル議案ノ整理及決議ノ記錄ハ部局長之ヲ掌ル

第四　文書處理規程

第一條　本校ニ到達シタル文書ハ親展書類ヲ除ク外ハ庶務課ニ於テ收受開封シ件名簿ニ登錄ノ上本書ニ受付番號及年月日ヲ記入シ各其ノ主務部局長ニ配付シ主任者ノ受領檢印ヲ受クヘシ但シ事ノ輕易ニシテ回答ヲ要セサルモノハ別ニ配付簿ニ登載シテ主務部局ニ配付シ主任者ノ受領印ヲ受クヘシ

第二條　學校長宛親展書ハ收受簿ニ登記シ之ヲ提出スヘシ

第三條　收受シタル文書ハ速ニ主務部局ニ於テ審議調査ヲ了シ處分案ヲ具シ學校長ノ決裁ヲ乞フヘシ但シ事ノ簡易ニシテ先例アルモノハ主務部局ニ於テ之ヲ專行スルコトヲ得

第四條　決裁濟ノ文書ニシテ校長名ヲ以テ發スルモノハ總テ庶務課ニ於テ淨書シ校名ヲ以テ發スル文書ハ主務部局ニ於テ之ヲ淨書シ庶務課ニ差出スヘシ但シ學校長ノ名ヲ以テ發スル文書ト雖其ノ浩瀚ナルモノハ主務部局ニ於テ淨書スルヲ要ス

第五條　委員、數量等總テ計算ヲ要スル書類ハ主務部局ニ於テ淨書シ再檢查ノ上欄外末尾ニ檢查濟ノ證印ヲ捺スヘシ

第六條　同一事件ノ往復文書ハ必ス之ヲ合綴スヘシ

第七條　起案ハ一定ノ用紙ヲ用ヒ起首ニ件名竝ニ其ノ要旨ヲ摘記スヘシ

第八條　閱覽ニ止ムヘキ文書ハ其ノ餘白ニ提供スヘキ各官名ヲ記シ回覽ニ付スヘシ

第九條　處分ヲ要スル文書ト雖事ノ簡單ナルモノハ餘白ニ處分案ヲ具シ提出スルコトヲ得

第十條　成規定例アルモノハ便宜帳簿ヲ製シ回議案ニ代用スルコトヲ得

第十一條　各主務部局ニ於テ淨書シタル文書ヲ庶務課ニテ受領シタルトキハ直ニ番號ヲ付シ捺印ノ上發送ノ手續ヲナスヘシ

第十二條　發送濟ノ文書ハ其ノ發送ノ月日ヲ起案用紙相當欄ニ記入シ且捺印スヘシ

第十三條　文書ハ總テ學校長ノ許可ヲ經ルニアラサレハ關係員外ニ示スコトヲ得ス

第十四條　收受發送ノ文書ニハ左ノ例ニ依リ符號及番號ヲ付スヘシ

受付ハ毎年一月ニ始マリ十二月ニ終ルモノトス

第十五條　人事ニ關スル完結書類ニハ欄外ニ左ノ整理印ヲ押捺シ關係書類其ノ他ノ整理ニ

遺漏ナキ事ヲ期スヘシ

昭和　年　月　日受付	
鳥農第　號	

鳥農庶發第　號

鳥農會發第　號

第五　職員服務心得

第一條　職員登校スルトキハ必ス出勤簿ニ捺印スヘシ上官ノ命ニ依リ休暇日ニ出勤スルトキモ亦同シ但シ高等官及年手當ヲ受クル囑託講師又ハ兼任囑託講師ハ之ヲ省略スルコトヲ得

整理	月日	發令
履歷書		
職員名簿		
出勤簿		
職員札掛		
揭示		
通知		

第二條　職員病氣其ノ他ノ事故ニヨリ缺勤セントスルトキハ出勤時限前ニ其ノ旨届出ツヘシ但シ病氣缺勤七日以上ニ亘ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

第三條　勤務時間中ニ退出セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ口頭又ハ書面ヲ以テ願出ツヘシ

第四條　忌服ヲ受クルトキハ死者ノ氏名並ニ自己トノ續柄ヲ記シタル忌服届ヲ差出スヘシ

第五條　職員新任ノ際ハ履歷書及住所届ヲ庶務課、印鑑届ヲ會計課ニ各本校所定ノ用紙又ハ帳簿ニ記入シ差出スヘシ但シ住所、氏名、印章ヲ變更シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ届出ツヘシ

第六條　着任又ハ新ニ任用スル爲召換セラレタル者ハ直ニ到着ノ年月日ヲ學校長ニ届出ツヘシ家族ノ到着モ亦同シ

第七條　職員公務ノ爲出張ヲ命セラレ旅行セントスルトキハ發着ノ都度庶務課備付ノ發着届簿ヲ以テ出發歸着ノ月日ヲ學校長ニ届出ツヘシ但シ旅費ノ支給ヲ受クル者ニアリテハ更ニ所定ノ旅行日記ヲ會計課ヘ差出スヘシ

第八條　職員病氣其ノ他ノ事項ニヨリ居住地ヲ離レントスルトキハ學校長ノ許可ヲ受クヘシ但シ賜暇中ハ旅行日數及場所ヲ記シ届出ツヘシ

第九條　職員官廳其ノ他ヨリ本校ヲ經由セスシテ直ニ辭令ヲ受ケタルトキハ其ノ事項ノ履歴上ニ關係アルモノハ其ノ都度届出ツヘシ

第十條　職員登校ノ時ハ洋服ヲ着用スヘシ但シ病氣其ノ他特別ノ事情アル者ハ羽織袴ヲ着用スルコトヲ得

第十一條　校達其ノ他ノ通知ハ特ニ文書ヲ以テ回達スルコトアルヘシト雖通例本校掲示場並ニ食堂（敎官ニ限ル）ノ掲示ニ就キ了知スヘシ

第六　當直規程

第一條　本校當直ハ書記（課長ヲ除ク）及雇員毎日一名宛輪番ヲ以テ勤務スヘシ但シ雇員ハ特ニ指名セラレタルモノニ限ル

第二條　當直勤務ハ宿直ト日直ノ二種トシ各別ニ輪番ヲ以テ左ノ區分ニヨリ勤務スヘシ

宿直　（當日退廳時限ヨリ翌日出勤時限マテ）

日直　（一般休暇日當時ノ出勤時限ヨリ退廳時限マテ）

第三條　當直ハ其ノ前日迄ニ庶務課ヨリ本人ヘ通知シ認印ヲ徴スヘシ

當直員自己ノ都合ニヨリ當直シ能ハサルトキハ代人ヲ立ツヘシ

第四條　左ノ諸項ノ一ニ當ルモノハ當直ヲ免ス

一、出張ノ前日及歸校ノ翌日

二、父母ノ看病及祭典等ニ依リ賜暇中ノモノ

三、缺勤ノモノ

第五條　新任ノ者ハ到着ノ日ヨリ七日ヲ經テ當直セシム

第六條　當直室ニハ當直中左ノ帳簿器具等ヲ備ヘ置クヘシ

一、御眞影奉護用鍵箱

二、當直員名簿

三、當直日誌

四、文書收受簿

五、文書交付簿
六、職員住所錄
七、郵便切手及郵便切手受拂簿
八、暗號電信符號
九、狀箱及公文書入

第七條　當直員ハ退廳時限前ニ庶務課ニ就キ前條ニ示ス諸帳簿器具及郵便切手等ヲ受取リ翌日庶務課又ハ次直者ニ之ヲ引繼クヘシ

第八條　退廳時限ヨリ引繼時限マテニ到着シタル至急文書及至急發送スヘキ文書ハ當直員ニ於テ假リニ收受發送ノ手續ヲナシ翌日庶務課ニ引繼クヘシ

第九條　收受シタル公文書中急ヲ要スルモノニシテ學校長宛ノモノハ直ニ學校長ニ送付シ認印ヲ受ケ學校宛ノモノハ當直員ニ於テ開緘ノ上臨機ノ處置ヲナシ翌日庶務課ニ報告スヘシ

前項ノ場合ニ於テ學校長不在ノ時ハ庶務課長ニ送付シ認印ヲ受クヘシ

他ノ職員ニ宛テタル至急公文書ハ受信者ニ送付スヘシ

第十條　當直員ハ常ニ火元其ノ他一般ノ取締ニ任シ夜間ハ午後八時ヨリ一回以上小使一名ヲ伴ヒ校舍內各室ヲ巡視シ異狀ノ有無ヲ當直日誌ニ記載スヘシ

第十一條　當直日誌ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一、月日（七曜、祝祭日等）
一、天氣
一、當直員（捺印ノミニテモ差支ナシ）守衛、小使名
一、參觀者職氏名
一、當直中出入ノ職員氏名並ニ退出時間
一、警備ニ關スルコト
一、守衛ノ報告
一、處務ノ概要

第十二條　雨風地震ノ際雨漏其ノ他ノ被害ノ虞アリト認メタルトキハ臨機ノ處置ヲナスヘシ

第七　物品會計細則

第一條　本校物品會計ハ物品會計規則及文部省直轄各部物品會計規程ニ基キ本細則ニ據リ處理スヘシ

第二條　物品ノ種別ハ左ノ項目ニ從ヒ之ヲ區分スヘシ

- 物品
  - 備品
    - 學術用備品
      - 共用
      - 專用
    - 器具
    - 機械
    - 標本
  - 動物
  - 消耗品
    - 特別扱消耗品
    - 通常消耗品
      - 藥品、材料及雜品
      - 動物飼養料、肥料
    - 實驗用消耗品
      - 種苗

第三條　備品ニハ別ニ定ムル所ニ從ヒ類別、符合、番號及校名ヲ附シ各部局ヘ支給スル場合ハ更ニ物品監守區域名ヲ附シ之ヲ配付スヘシ但シ貴重品ニシテ製作番號アルモノハ關係書類ニ其ノ番號ヲ併記スヘシ

第四條　本校各部局ニ於テ物品ノ支給ヲ受ケントスルトキハ品目、數量、事由、部局名ヲ記載セル請求書ヲ會計課ヘ差出スヘシ

第五條　會計課ニ於テ前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ其ノ物品ノ在庫品ナルトキハ價格ヲ記シ學校長ノ許可ヲ受ケテ直ニ支給ノ手續ヲ爲シ之ヲ當該物品監守者又ハ物品取扱主任ニ交付シ新ニ購入ヲ要スルモノハ豫定價格ヲ具シ學校長ノ許可ヲ受ケテ購買ノ手續ヲナスヘシ

第六條　通常消耗品ハ會計課ニ於テ一ケ年ノ所要高ヲ豫定シ學校長ノ許可ヲ經テ一回若ハ數回ニ取纏メ購入ノ手續ヲ爲シ之ヲ倉庫ニ藏置シ各部局ノ請求ニ應シテ支給ノ手續ヲナスヘシ

第七條　生產物又ハ寄贈ニ係ル物品ハ會計課ニ於テ其ノ品名數量及價格若ハ評價ヲ付シ藏置若ハ支給ノ手續ヲナスヘシ

第八條　本校各部局ニ備品又ハ特別扱消耗品ニ付テハ物品取扱主任ヲ置ク其ノ所屬區域及物品ノ種目ハ別ニ之ヲ定ム

第九條　職員執務用ノ椅子、卓子、被服類ハ之ヲ專用備品トシ專用者各自之ヲ監守シ其ノ責ニ任スヘシ

第十條　會計課ハ職員ノ新任轉免ヲ取調ヘ其ノ都度之カ支給返付ノ事ニ當ルヘシ

第十一條　物品監守者又ハ物品取扱主任物品ノ配付ヲ受ケタルトキハ直ニ之カ監守カード作製又ハ記帳ヲ爲シ現品ト對照ノ上所定ノ用紙ニ領收ノ印ヲ押捺シ遲滯ナク物品會計官吏ニ返付スヘシ但シ物品監守者ハ監守カード其ノ他ノ帳簿ニ物品備付ノ場所ヲ摘記シ其ノ所在ヲ明カニスヘク消耗品ニアリテハ其ノ授拂殘高ヲ明確ニスヘシ

第十二條　物品監守者更迭シタルトキハ新舊監守者及會計課員立會ノ上現品ト關係書類トヲ照合ノ上引繼ヲ了スヘシ引繼ヲ了シタルトキハ其ノ旨書面ヲ以テ物品會計官吏ノ手ヲ經テ學校長ニ屆出ツヘシ

第十三條　甲乙監守者間ニ於テ物品ノ監守換ノ必要生シタルトキハ其ノ旨會計課ニ通知シ制規ノ手續ヲ經テ現品ノ受授ヲナスヘシ

第十四條　物品監守者監守中ノ物品ニシテ自然ニ毀損シ修理ヲ要スルモノアルトキハ所定

ノ請求書ニ監守カードヲ添ヘ會計課ヘ差出スヘシ

第十五條　會計課ニ於テハ前條物品ノ修理ヲ了シタルトキハ監守カードニ修理ノ年月日及價格ヲ記入シ現品ト共ニ直ニ物品監守者ニ引渡スヘシ

第十六條　物品監守者監守中ノ物品ニシテ不用トナリタルモノアルトキハ物品返付簿ニ記載調印ノ上現品並ニ監守カードヲ添ヘ會計課ニ返付シ物品會計官吏ノ受領證ヲ徵シ置クヘシ

第十七條　物品監守者監守物品ノ票札ヲ汚損シ又ハ紛失シタルモノアルトキハ直ニ會計課ニ通告シ更ニ票札ノ貼付ヲ受クヘシ

第十八條　物品監守者監守中ノ物品ヲ紛失シタルトキハ其ノ品名數量番號等ヲ取調ヘ其ノ實況ヲ詳記シタル始末書ヲ作リ物品會計官吏ヲ經テ學校長ニ申報スヘシ

第十九條　使用中ノ物品ハ物品會計官吏左ノ各項ニ依リ之ヲ監督スヘシ

一、備品ハ毎年一回物品出納簿ト各部局監守カードト照シ更ニ監守カードト現品ト照査スルコト

二、消耗品ハ毎月一回物品出納簿ト消耗品受拂簿トヲ對照シ更ニ受拂簿ト現在品トヲ照査スルコト

三、前項ノ調査ニ於テ物品ノ亡失毀損ヲ發見シタルトキ又ハ物品ノ使用上ニ付意見アルトキハ學校長ニ申報シ其ノ處決ヲ求ムヘシ

第二十條　不用ニ歸シタル物品又ハ毀損拂ノ物品ニシテ將來使用ノ目途ナシト認メタルモノ若ハ修理使用ノ見込ナキモノハ其ノ處分案ヲ付シ學校長ノ決裁ヲ乞フヘシ

第二十一條　物品會計官吏ハ物品ノ出納保管ヲ明確ナラシムル爲左ノ帳簿及カードヲ備付クヘシ

一、備品原簿

本簿ハ第二條ノ物品種別ニ從ヒ各冊ニ別チ備品類別順ニ區別シテ口座ヲ設ケ番號順ニ毎品購入年月日、價格、納人、供用又ハ在庫ノ別支給及返付年月日ヲ登記シテ備品各個ノ沿革ヲ明カニシ兼テ物品所在ノ索引タラシム

二、備品出納簿

本簿ノ區分ハ前項備品原簿ニ準スル外更ニ品目毎ニ細別シテ口座ヲ設ケ品名、數量、價格、番號、月日、納人等ヲ登記シ供用在庫ノ現數並ニ物品監守者ト物品會計官吏トノ受授ヲ明カニス

三、備品「カード」

本票ハ備品一點毎ニ一票ヲ設ケ品目、構造、價格、符合、番號、月日、納人並ニ貴重品ニアリテハ製作番號等ヲ記載シ命令ニ基キ備品ヲ監守者ニ支給スルトキハ本票ニ監守者ヲシテ受領年月日ヲ記入捺印セシメ之ヲ各監守者毎ニ區分整理シテ物品監守者ノ責任ヲ明カナラシメ兼テ物品保管ノ現況ヲ明カニス

四、消耗品出納簿

本簿ハ通常消耗品トシテハ（帳簿、印刷物類、諸用紙、筆墨、印肉類、新炭油類、雜用品）實驗用消耗品トシテハ（藥品、實驗材料及雜品、動物飼養料、肥料、種苗）特別扱消耗品トシテハ（雜品）ニ區分シ更ニ品目毎ニ細別口座ヲ設ケ品名、數量、價格、月日、納人等ヲ登記シ又在庫並ニ消費高ヲ明カニス

第二十二條　會計課ニ左ノ帳簿ヲ備ヘ返付物品ニ付物品監守者ト物品會計官吏トノ受授並ニ當該物品ノ處分ヲ明カニス

一、備品返付簿

第二十三條　各部局物品監守者又ハ物品取扱主任ニ於テハ物品ノ出納監守及取扱ヲ明確ナラシムル爲左ノ帳簿及「カード」ヲ備付クヘシ

イ、備品監守者

一、備品監守「カード」

本票ハ備品カードノ副票トナスモノニシテ監守者自ラ監守物品ノ現況ヲ知ルト共ニ現品トノ照査ヲ便ナラシムヘシ

二、特別扱消耗品受拂簿

本簿ハ消耗品中各所ニ備付ノ用ヲナス獨立ノ物品ヲ各品目毎ニ細別口座ヲ設ケ數量及受拂ノ年月日ヲ明記スヘシ但シ自然破損其ノ他ニヨリ拂出控除ヲ爲シタルトキハ其ノ都度物品會計官吏ノ認印ヲ求ムヘシ

ロ、物品取扱主任

一、消耗品受拂簿

本簿ニハ消耗品出納簿ノ順序ニ基キ品目毎ニ口座ヲ設ケ數量及受拂ノ年月日ヲ明記スヘシ

二、郵便切手類受拂簿

本簿ハ文書發送取扱者ニ於テ備付ケ其ノ受拂ヲ詳細ニ記入スヘシ

第二十四條　專用物品監守者ハ專用物品支給ノ場合ハ監守カードヲ以テ物品專用者トノ責任ヲ明カニシ置クヘシ

第二十五條　本校ニ物品檢閲委員ヲ置キ定期臨時ノ二種ニ別チ毎年一回以上實地ニ就キ左ノ各項ヲ檢査セシム但シ定期檢閲ハ七月トシ臨時檢閲ハ臨時必要アリト認メタル場合ニ於テ之ヲ執行ス

一、物品保管ノ適否

二、備品使用ノ適否

三、消耗品消費ノ適否
四、物品缺損ノ有無
五、帳簿ト現品トノ對照

第二十六條　物品檢閲委員ハ委員長一名委員若干名トシ職員中ヨリ學校長之ヲ命ス

第二十七條　物品檢閲ハ在庫品ニアリテハ物品會計官吏使用中ノ物品ニアリテハ物品監守者消耗品ニアリテハ物品取扱主任ニ就キ之ヲ行フヘシ

第二十八條　前條ノ檢閲ヲ受クル者ハ實地ニツキ檢閲委員ノ質問ニ對シ答辯スヘシ

第二十九條　物品檢閲委員ニ於テ檢閲上故障ナシト認定シタルトキハ檢了證ヲ交付スヘシ

第三十條　物品檢閲上物品ニ缺損アリタルトキハ檢閲委員ニ於テ當該責任者ヨリ補塡ノ方法及期限ヲ明記シタル始末書ヲ徵スヘシ

第三十一條　物品檢閲委員其ノ檢閲ヲ終リタルトキハ檢閲ノ顚末ニ意見ヲ具シ關係書類ヲ添ヘ十五日以内ニ委員長ヲ經テ學校長ニ申報スヘシ

第三十二條　本細則ニ據ル諸帳簿幷諸用紙ハ別紙樣式ニ據リ調製スヘシ

第三十三條　圖書ノ取扱ヒニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

附　則

本細則ハ大正十年七月十一日ヨリ之ヲ施行ス

別　表

備品分類別及符合表

あ	卓子、机、實驗臺類	い	椅子、腰掛類	う	戸棚及棚、簞笥類
ゑ	衝立及物掛類	お	御眞影裝置及國旗類	か	黑板、揭示板、製圖板及其他板類
き	度量衡器	く	印刷用器及文具類	け	印章、版木
こ	醫療器具	さ	時計、寒暖計類	し	バケツ、桶、湯沸洗面器類
す	寢具類	せ	被服、風呂敷、卓子掛類	そ	厨具類
た	煖爐、火鉢、煙草盆	ち	臺類	つ	箱類
て	瓦斯、電氣器具磁器類	と	及物及小道具類	な	容器類

に	掃除用具	ぬ	体操用具
の	○農工具	は	○測量及製圖用具
ふ	○養蟲養植器具	へ	○殺菌及消毒器
ま	寫眞用器具	み	○實驗燈火裝置及加熱器具
め		も	
ゆ	車輪類	よ	雜品
り	剝製標本	る	實物標本
ろ	順序標本	わ	圖解標本
ね	警備用具		
ひ	○採集用具		
ほ	○玻璃器		
む	○レンズ類		
や			
ら	浸漬標本		
れ	製作模型		

一、本表中○印ヲ附シタルモノハ專ラ學術用器具トシ其ノ他ノ分類ニ屬スルモノニシテ學術用ニ供スルモノハ「か」ノ冠符ヲ付スヘシ

二、學術用機械ニハ本表ニ據ラス別ニ「き」ノ冠符ト品名ノ冠字ヲ付スヘシ

第八　學校醫職務規程

第一條　本校ニ學校醫二人ヲ置キ一人ヲ顧問醫ト爲シ一人ヲ治療醫トナス

第二條　顧問醫ノ職務ハ左ノ如シ

一、學校衛生ニ關シ意見ヲ陳示シ學校長ノ諮問ニ應スルコト

二、學生及入學志願者ノ身體檢查ニ關スルコト

第三條　治療醫ノ職務ハ左ノ如シ

一、學生ノ疾病治療ニ關スルコト

二、學生及入學志願者ノ身體檢查ニ關スルコト

三、寄宿舍ノ衛生ニ關スルコト

第四條　顧問醫ハ每月二回以上登校シ一般衛生ニ關スル視察ヲ遂ケ意見ヲ學校長又ハ生徒主事ニ具申スヘシ

第五條　治療醫ハ學生ノ疾病ニ罹レルモノヲ診察治療シ及寄宿舍ノ衛生ニ關スル視察ヲナ

第六條　學校醫ハ臨時ニ起リタル衛生上ノ事件又ハ學生ノ急病ニ關シ學校長又ハ生徒主事ノ要求アリタルトキハ直ニ登校シ相當ノ處置ヲ取ルヘシ

第七條　學校醫登校シタルトキハ視察ノ要項及學生疾病ノ概況ヲ日誌ニ記入スヘシ

第八條　學校醫ハ學生ノ體育ニ注意シ衛生統計ヲ作リ學校長ニ報告スヘシ

第九　學生心得

第一條　本校學生ハ教育ニ關スル勅語ノ趣旨ヲ奉體シ心身ノ修養ヲ怠ラス以テ立身報國ノ基ヲ建ツヘシ

第二條　本校ノ規則命令ヲ遵守シ師長ノ指揮訓誡ニ恭順スヘシ

第三條　本校職員ニ對シテハ勿論學生相互ノ間ニ於テモ敬禮ヲ行フヘシ

第四條　風紀ヲ紊ス虞アル場所ニ出入スヘカラス

第五條　告示ハ之ヲ掲示シタル日ヨリ一般ニ知了シタルモノト認ムルヲ以テ常ニ能ク注意

第六條　校舍内ニ在リテハ靜肅ヲ旨トシ高聲疾走等喧噪ノ行爲アルヘカラス

第七條　校内ニ在リテハ所定ノ場所ノ外飲食喫煙又ハ吐唾スヘカラス

第八條　授業時間ニハ遲滯ナク所定ノ場所ニ到リ其ノ席ニ着クヘシ

第九條　授業時間中ハ受持教官ノ許可ヲ得スシテ教室實驗室等ニ出入スヘカラス

第十條　受持教官授業時間ニ至ルモ出勤セサルトキハ教務課ニ就キ其ノ指揮ヲ受ケ決シテ隨意退散スヘカラス

第十一條　授業時間外ニ於テハ教官ノ許可ナクシテ教室、實驗室等ニ出入スヘカラス

第十二條　本校所屬ノ建物、物品、樹木等ヲ汚染亡失毀損スヘカラス但シ情狀ニヨリテハ之ヲ辨償セシム

第十三條　諸願届書類ハ總テ學校長ニ宛テ學生課ニ差出スヘシ

第十四條　集會又ハ掲示ヲナサントスルトキハ必ス學生課ニ申出テ許可ヲ受クヘシ

第十五條　學生及身元引受人ノ本籍、住所、族籍、氏名等ニ異動ヲ生シタルトキ又ハ學生ノ

轉宿歸省旅行其ノ他ノ異動等ハ直ニ届出ツヘシ

第十六條　自宅通學又ハ特別ノ事情アルモノノ外寄宿舍ニ入ルヲ要ス

第十七條　外出ノ際ハ制服若ハ和服ニ袴ヲ着用スヘシ但シ帽子ハ本校所定ノモノニ限ル

第十　總代規程

第一條　各級ニ總代及副總代各一人ヲ置ク

第二條　總代ハ其ノ級ヲ代表シ命令傳達等ヲ司リ級ノ統一秩序ヲ計リ風紀取締ニ注意スヘシ

第三條　副總代ハ總代ヲ補佐シ總代事故アルトキハ之ヲ代理ス

第四條　總代及副總代ハ各級學生ノ互選セル數名ノ候補者中ニ就キ學校長之ヲ任命ス

第五條　總代及副總代ノ任期ヲ一學期間トス

第十一　學生制服規程

第一條　學生ノ制服ハ左ノ如シ

帽子

地質　黒絨

前章　金色如圖

眼庇　黒革

頤紐　黒革（幅四分）

釦　金色如圖

制式　如圖

衣

地質　黒絨　但シ夏ハ紺セル

釦　金色如圖

襟章　左襟ニ農學科ハA農藝化學科ハC

右襟ニ第一學年ハⅠ第二學年ハⅡ第三學年ハⅢノ金字ヲ附ス

制式　如圖

袴

地質　衣ニ同シ

制式　如圖

第二條　制服ヲ着用スヘキ場合左ノ如シ

一、本校ニ出入スルトキ但シ寄宿舍生ノ舍内ニアルトキハ此ノ限ニアラス

二、本校學生タルコトヲ表示スルトキ

三、其ノ他本校ヨリ特ニ指定セラレタルトキ

第三條　實驗實習等ニ從事スルトキハ所定ノ作業服ヲ着用セシムルコトアルヘシ

第四條　制服ノ着用期限ハ左ノ如シ

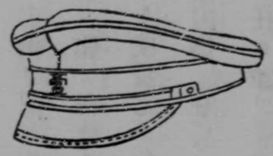
夏服　自五月二十一日　至九月三十日

冬服　自十月一日　至五月二十日

第五條　夏期ハ麥藁帽子（如圖）ヲ着用スルコトヲ得

第六條　疾病其ノ他ノ事故ニ依リ制服ヲ着用シ難キトキハ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ

帽子



略帽

衣前面

背面

袴

第十二　寄宿舍規則

第一條　寄宿舍ハ本校學生ヲ入舍セシムル所トス

第二條　舍生ハ猥リニ退舍スルコトヲ許サス但シ已ムヲ得ス退舍セント欲スル者ハ願書ニ事由ヲ記シ尚疾病ニヨル者ハ學校醫ノ診斷書ヲ添ヘテ差出スヘシ

第三條　在舍生ハ寮務員六名ヲ選出シ更ニ其ノ內ヨリ寮長及副寮長各一名ヲ互選シ詮衡ノ上校長之ヲ命ス

第四條　寮長ハ生徒主事及學生課員ノ指揮ヲ承ケ舍內一般ノ風紀取締及自治的事務ノ責ニ任シ兼テ命令其ノ他ノ事項ヲ傳達スルコトヲ掌ル

第五條　副寮長ハ寮長ヲ補佐シ寮長事故アルトキハ其ノ任務ヲ代理ス

第六條　寮務員ハ協力シテ寄宿生活ノ向上ヲ圖リ寮務ヲ分擔ス

第七條　舍生ハ左ノ諸件ヲ遵守スヘシ

一、靜肅ヲ守リ他人ノ勉學及安眠等ヲ妨害スル所行ヲ爲ササルコト

二、舍內ニ於テハ上草履若ハ上靴ヲ用フルコト

三、火氣ノ取扱ニ注意シ危險ノ所行ヲナササルコト

四、常ニ清潔法規定ヲ守リ室內外ノ清潔整頓ニ務ムルコト

五、室內備付ノ器具ハ猥リニ所定ノ位置ヲ變ヘ又ハ模樣更ヘヲナササルコト

六、修業上必要ノ物品ノ外ハ生徒主事ノ許可ヲ得ルニアラサレハ携帶スルコトヲ得ス

第八條　起床、就褥、喫飯、人員點檢及自修始終ノ時間等ハ喇叭、半鐘又ハ擊柝ヲ以テ報ス

第九條　人員點檢ハ臨時ニ之ヲ行フ舍生ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第十條　舍內ニ談話室、圖書室及會議室ヲ設ケ別ニ定ムル所ノ規程ニヨリ之ヲ使用セシム

第十一條　食堂ニハ定時ノ外猥リニ出入スヘカラス若シ定時外喫飯ヲ要スル者ハ學生課

ノ許可ヲ受クヘシ

第十二條　入浴時間ハ別ニ之ヲ定ムルヲ以テ其ノ時間内ニ於テ之ヲ爲スヘシ若シ定時間外入浴ヲ要スルモノハ學生課ノ許可ヲ受クヘシ

第十三條　疾病ニ罹リタル者アル時又ハ金錢物品ヲ紛失シタル時ハ速ニ學生課ニ届出ツヘシ

第十四條　外來人ニ面會スルトキハ必ス應接所又ハ談話室ニ於テスヘシ但シ己ムヲ得サル場合ニ於テハ學生課ノ許可ヲ受クヘシ

第十五條　舍内ノ物品ヲ毀損又ハ亡失シタル時ハ之ヲ辨償セシム若シ毀損亡失者判明セサル時ハ舍内又ハ室内ノ一同ヲシテ辨償セシムルコトアルヘシ

第十六條　日課時限ハ左ノ如シ

起床	午前五時半	自四月一日至九月三十日	自十月一日至三月三十一日
		午前六時半	

朝食	午前六時	午前七時	
晝食	正午	午後零時半	但シ十月中ハ正午
夕食	午後五時半	午後五時半	
自修時間	自午後八時至十時	自午後七時至同十時	
外出時限	午後十時	午後九時休日前日同十時	
消燈	午後十時	午後十時半	

休日ノ前晩ハ自修時間ヲ設ケス

第十七條　定時限外外出者ハ豫メ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ

第十八條　旅行若ハ外泊セントスル時ハ其ノ事由、日數及行先ヲ記載シテ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ

第十九條　外出中己ムヲ得サル事情アリテ定刻限ニ遲レ又ハ外泊セル者ハ歸寮ノ際其ノ事由ヲ詳記シテ届出ツヘシ但シ外泊ノ時ハ宿泊先ノ證明書ヲ要ス

第二十條　食費及諸雜費ハ前月末日限リ炊事會計委員ニ支拂フヘシ但シ中途入舍シタル者ハ其ノ際支拂フヘシ

第二十一條　疾病ニ罹リタルモノハ校醫ノ診斷ニ依リ病室ニ於テ治療ヲ受ケシム但シ輕症ノモノハ此ノ限ニ在ラス

第二十二條　重病、傳染病若ハ全治ニ日數ヲ要スルモノハ最寄病院ニ入ラシムルコトアルヘシ

第十三　寄宿料徵收規程

第一條　本校寄宿舍ヘ入舍スルモノハ寄宿料ヲ納付スヘシ但シ特待生及實業學校教員養成規程ニ依ル學資補給生ニハ之ヲ免除ス

第二條　寄宿料ハ月額金貳圓トシ毎月授業開始ノ日ヨリ七日以內ニ於テ指定ノ日ニ本校會計課ヘ納付スヘシ

第三條　八月分ノ寄宿料ハ之ヲ徵收セス

第四條　月ノ十六日以降ニ入舍シタル者ハ其ノ月ノ寄宿料ハ金壹圓トシ入舍ノ日ヨリ五日以內ニ納付スヘシ

第五條　月ノ十五日以內ニ退舍スル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル時ハ其ノ月ノ寄宿料ヲ金壹圓トシ第二條ノ期限內ニ納付スヘシ

一、七月、十二月、三月中ニ於テ授業又ハ課セラレタル實驗實習ノ終了シタル者

二、所定ノ學業ヲ修了シタル者

第六條　前條ノ規定ニ依リ寄宿料ヲ納付シタル者十五日以內ニ寄宿舍ヲ退出スルニ至ラサリシ時ハ直ニ其ノ不足額金壹圓ヲ追納スヘシ

第七條　一旦納付シタル寄宿料ハ如何ナル理由ニ依ルモ返付セス

第八條　寄宿料ヲ期限內ニ納付セサル時ハ本人ニ催告シ仍納付ヲ怠ル時ハ本校規則第二十四條ニ準シテ處分スルコトアルヘシ

第九條　前條ノ催告ハ寄宿舍內ノ一定ノ場所ニ二日以上揭示スルヲ以テ之ヲ爲シタルモノト見做ス

第十四　通學生取締規則

第一條　通學生ハ生徒主事ノ認可ヲ得タル宿所ニ寄宿スルモノトス

第二條　通學生ハ二人以上同宿スヘシ但シ自宅又ハ生徒主事ノ適當ト認メタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三條　既定ノ宿所不適當ナリト認メタルトキハ直ニ轉宿セシムヘシ

第四條　通學生ハ本校規定ノ標札ヲ其ノ宿所ニ掲ケ置クヘシ但シ本校ノ學籍ヲ脫シタルトキ又ハ休學停學中ノ者ニシテ學校所在地ヲ去ラントスルトキハ速ニ標札ヲ學生課ニ返付スヘシ

第五條　宿所ハ學生課員隨時點檢スヘシ

第十五　圖書館規則

第一章　總則

第一條　本校圖書館ハ本校ノ圖書ヲ保管シ本校職員及學生ノ閱覽若ハ貸付ニ供ス

第二條　圖書ヲ分チテ左ノ二種トス

第一　普通圖書

第二　貴重圖書

第三條　本校卒業生、諸官廳學校職員、公私團体ノ役員若ハ個人ニシテ學校長ノ許可ヲ得タルモノハ本館閱覽室ニ於テ圖書ヲ閱覽スルコトヲ得

第四條　圖書ヲ借受若ハ閱覽セントスル者ハ圖書館ニ就キ定式ノ證書用紙ニ相當記入ヲ爲シ圖書館員ニ差出スヘシ但シ學生ハ同時ニ交付セル圖書借受票又ハ閱覽票ヲ提出スヘシ

第五條　本館員ノ外圖書ノ出納ヲナスコトヲ得ス

第六條　本館ハ左記ノ日ヲ除クノ外之ヲ開ク但シ臨時之ヲ開閉スルコトアルヘシ

一、大祭祝日

一、日曜日

一、學校記念日

一、自七月二十一日　至七月三十一日

一、自十二月二十五日　至一月五日

開館時間ハ學校長ノ許可ヲ經テ圖書館長之ヲ定ム

第二章　圖書貸付

第七條　圖書貸付ハ公用貸付ト個人貸付トニ分ツ

第八條　公用貸付ハ各部局長其ノ責ニ任シテ借受クル者ニシテ其ノ部局ノ職務上必須ナルモノニ限リ一定ノ場所ニ備付クルモノトス但シ其ノ貸付冊數ヲ制限セス

第九條　個人貸付ハ職員及學生ノ借受クル者ニシテ其ノ借受冊數ノ制限左ノ如シ

教授	五冊
助教授　講師	二冊
其ノ他ノ職員	一冊
學生	一冊

但シ擔任教員ノ證明ヲ經テ圖書館長ノ承諾ヲ得タル學生ハ借受冊數ヲ增加スルコトヲ得

第十條　貴重圖書及本館ニテ指定シタル圖書ハ一切之ヲ貸出スコトヲ得ス

第十一條　新着ノ圖書雜誌等ハ受入後一週間ハ貸付セス

第十二條　借受シタル圖書ハ他ニ轉貸スルコトヲ得ス但シ公用貸付ノ圖書ハ第四號ノ手續ヲ準用シテ他ニ貸付スルコトヲ得

第十三條　學生ニシテ圖書ヲ借受タル者ハ一週間以內ニ必ス返納スヘシ但シ引繼キ借受ノ必要アルモノハ他ニ同書借受ノ要求ナキトキハ引繼キ貸付スルコトアルヘシ

第十四條　總テ借受シタル圖書ハ夏期休業マテニ必ス返納スヘシ但シ公用貸付ノモノハ此ノ限ニアラス

第十五條　夏期及冬期休業中圖書ヲ借受ケントスルトキハ更ニ借受ノ手續ヲナシ學生ハ特ニ二冊ヲ限リ借受クルコトヲ得

第十六條　夏期及冬期休業中借受シタル圖書ハ休業終了後五日以內ニ必ス返納スヘシ

第十七條　職員退職、轉任ノ場合、學生卒業、退學、休學ノ場合ハ其ノ借受シタル圖書ヲ直ニ必ス返納スヘシ

第三章　閱覽

第十八條　閱覽冊數ハ一時ニ三冊ヲ過クルコトヲ得ス

第十九條　圖書ハ必ス閲覽室ニ於テ閲覽スヘシ閲覽室備付ノ圖書及定期刊行物ハ閲覽シ了レハ直ニ所定ノ場所ニ納メ置クヘシ

第二十條　貴重圖書ハ特ニ定メタル別席ニ於テ閲覽セシム

第二十一條　閲覽室内ニ於テハ靜肅ヲ旨トシ一切音讀、談話、喫煙、飲食等ヲ禁ス

第二十二條　閲覽室ニ出入スル者ハ圖書文房具ノ外他ノ物品ヲ携帶スルヲ許サス

第四章　檢索

第二十三條　各部局長及教員ハ公務上必要ノ場合ニ於テハ圖書館員ノ認諾ヲ得テ書庫内ニ入リテ圖書ノ檢索ヲナスコトヲ得

第二十四條　五人以上同時ニ書庫内ニ入リテ圖書ノ檢索ヲナスコトヲ得ス

第二十五條　書庫内ニ入リテ圖書ヲ檢索スルノ際圖書ノ位置ヲ錯亂セサルハ勿論出納者ノ障礙ヲナササル樣注意スヘシ

第五章　點檢

第二十六條　貸付シタル圖書ハ臨時返納セシメ之ヲ點檢スルコトアルヘシ

第二十七條　公用貸付ノ圖書ハ本館員出張ノ上點檢スルコトアルヘシ

第六章　制裁

第二十八條　借受シタル圖書ハ借受者其ノ保存ノ責ニ任シ紛失汚損等ノ行爲アリタルトキハ同一ノ圖書ヲ以テ償ハシメ又ハ修補セシム但シ時宜ニ依リ代價ヲ以テ償ハシムルコトアルヘシ

第二十九條　本則ニ違背シタル者アルトキハ其ノ輕重ニ從ヒ一定ノ期間若ハ無期限ニ圖書ノ閲覽及貸付ヲ禁スルコトアルヘシ

第三十條　除名、停學、放校ノ處分ヲ受ケタル者ハ直ニ其ノ借受シタル圖書ヲ返納セシメ又ハ閲覽ヲ停止スヘシ

第三十一條　圖書ヲ辨償セシメ若ハ貸付閲覽ヲ停止スヘキ者アリト認ムルトキハ圖書館長ハ意見ヲ具シテ學校長ニ稟申スヘシ

第十六　實驗農場規程

第一條　實驗農場ノ事務ヲ種藝部、園藝部、畜產部、農產製造部及養蠶部ニ分チ各部ニ主任並ニ係員ヲ置ク

第二條　主任ハ實驗農場長ノ命ヲ受ケ各部整埋ノ責ニ任シ係員ハ各主任ノ命ヲ受ケ各部ノ事務ニ從事ス

第三條　各部ニ於テ處理ス可キ業務左ノ如シ

一、種藝部　種藝ニ關スル一切ノ事項、堆肥ノ製造、農夫並ニ傭人ノ取締ニ關スル事項並ニ農業動力ニ關スル事項

二、園藝部　園藝溫室並ニ見本園ニ關スル一切ノ事項

三、畜產部　畜產ニ關スル一切ノ事項並ニ牧草地ニ關スル事項

四、農產製造部　農產製造ニ關スル一切ノ事項

五、養蠶部　養蠶ニ關スル一切ノ事項並ニ桑園ニ關スル事項

第四條　實驗農場長ハ每年各部主任ニ左ノ事項ニ關スル書類ヲ作製セシメ之ヲ學校長ニ提出ス可シ

一、每年四月　前年度ニ於ケル事業功程並ニ收支決算

一、每年三月　翌年度ニ於ケル事業計劃

第五條　實驗實習ニ關スル事項及生產物取扱ニ關スル事項ハ實驗農場長ノ命ヲ受ケ各部ニ於テ處理スルモノトス

第六條　農學科、農藝化學科ノ部員ニシテ實驗農場ニ於テ實驗セントスル時ハ豫メ實驗農場長及主任ノ認諾ヲ經ルモノトス

第十七　養蠶室規程

第一條　蠶室內ニ於テハ靜肅ヲ旨トシ苟モ喧噪ノ行爲アルヘカラス

第二條　蠶室內ニ於テハ特ニ火氣ニ注意シ喫煙及飮食ヲ嚴禁ス

第三條　主任敎官ノ許可ナクシテ外來人ヲ蠶室內ニ誘ヒ入ルヘカラス

第四條　蠶室內ハ淸潔ニ保チ常ニ整頓シ置クヘシ

第五條　出入ハ必ス學生昇降口ヨリナシ土足又ハ靴ノ儘ニテ室內ニ入ルヘカラス

第六條　日々掲示ニ注意シ指示ノ作業ハ機敏ナルヲ要ス

第七條　各室ニ室長及副室長ヲ置キ室内一切ノ整理ヲナサシム

第八條　室長及副室長ハ各室學生間ノ選擧ニ據リ主任教官之ヲ定ム

第九條　各室ニ貸付シタル蠶具其ノ他ノ物品ハ叮嚀ニ取扱ヒ使用後ハ必ス所定ノ場所ニ整理シ置クヘシ

第十條　學生ハ交代ニ宿直スルモノトス

第十八　養蠶實習規程

第一條　農學科第二學年ニハ專ラ蠶兒飼育ノ實習ヲ課シ消毒、催青、採桑、飼育、殺蛹、製種、調査等ヲ爲サシム

第二條　農學科第二學年ニハ三齡以後飼育中他ノ學科ヲ課セサル事アルヘシ

第三條　養蠶實習中蠶室、桑場、採桑、宿直等ノ當番ヲ置キ作業ヲ分掌セシム　各當番心得ハ別ニ之ヲ定ム

第四條　養蠶實習ニ關シテハ教官ノ指揮命令ニ從フヘシ

第十九　非常手配規程

第一條　本校失火若ハ近火水災等事變ノ節ハ守衛又ハ小使其ノ他之ヲ知リタル者ヨリ執務時間内ハ庶務課、會計課及學生課ニ其ノ他ハ當直員ニ急報スヘシ

前項ノ場合ニハ可成迅速ニ警察官署ニ報知スヘシ

第二條　庶務課、會計課、學生課及當直員ニ於テ前條ノ報ニ接シタルトキハ直ニ手後レナキ樣相當ノ手配ヲ爲シ特ニ　御眞影並勅語謄本ノ保安ニ留意スヘシ但シ當直員ニ在リテハ同時ニ急使ヲ以テ學校長、課長及學生課員ニ報知スヘシ

第三條　事變ノ節多人數ノ手配ヲ要スト認ムル場合ニ於テハ前條職員ハ守衛ヲシテ火災號音ヲ其ノ他ノ事變ハ集合ノ號音ヲ吹奏セシムヘシ

第四條　前條信號ヲ報シタルトキハ職員以下諸傭人ニ至ルマテ各自常詰所ニ在リテ上官ノ指揮ニ從フヘシ

學生ハ寄宿舍玄關前庭ニ集合シ學生課員ノ指揮ヲ受クヘシ但シ寄宿舍出火ノ際ハ學生課員ニ於テ臨機ノ處置ヲ爲スヘシ

第五條　非常手配ヲ分チテ左ノ三掛トシ非常事變ノ節夫々分掌ノ手配ニ從事スルモノトス

一、警戒掛

二、防災掛

三、運搬掛

第六條　警戒掛ノ分掌ヲ定ムルコト大要左ノ如シ

一、學校ノ周圍ヲ警戒シ本校其ノ他ノ官衙ノ職員及警官消防夫並本校諸備人若ハ出入ノ諸商人職工ノ外ハ入ルコトヲ禁止スヘシ

二、始終校内ヲ巡邏シテ盜賊等ヲ戒ムヘシ

三、表玄關ニ見張シテ出入ヲ監視シ且ツ駈付人氏名等ヲ書留メ置クヘシ

四、校内ヲ巡邏シ窓ノ外戸ヲ閉チ風孔ヲ塞キ倉庫ハ目塗ノ用意ヲ爲シ物品運搬濟ノ上又ハ運搬ヲ待タス直ニ入口非常戸ヲ締切ル等適宜ノ手配ヲ爲スヘシ

五、夜中ニ在リテハ當直員ノ指揮ヲ受ケ玄關ニ高張提灯ヲ點シ其ノ他要所ニ點燈シ又各所入口開扉ノ用意ヲ爲スヘシ

六、煖爐、點燈其ノ他ノ一般火氣ノ存スル所ニハ特ニ警戒ヲ加ヘ其ノ必要ト認メタルモノノ外ハ總テ消滅スヘシ

七、水災ノ節ハ實習地校地等ヲ巡邏シ若シ浸水ノ虞アルトキハ防災掛ニ通報スヘシ

第七條　防災掛ノ分掌ヲ定ムルコト大要左ノ如シ

一、校内失火ノ節ハ直ニ備付ノ喞筒及消火器ヲ使用シ專ラ消防ヲ爲スヘシ

二、近火ノ節ハ適宜ノ場所ニ喞筒ヲ引キ出シ若シ延燒ノ虞アルトキハ水ヲ建物ニ注キ充分ノ豫防ヲ爲スヘシ

三、水災ノ節ハ臨機防水ノ處置ヲ爲スヘシ

第八條　運搬掛ノ分掌ヲ定ムルコト大要左ノ如シ

一、校内失火シテ消シ止メ難キカ或ハ近火ニシテ延燒ノ虞アリト認ムルトキハ校内書類圖書其ノ他ノ物品ヲ完全ノ場所ニ運搬スヘシ

二、物品ヲ運搬スルニハ火元最寄ノ個所ヨリ始メ且ツ貴重品及書類ヲ先ニシ次ニ圖書其ノ他一般ノ物品ニ及フヘシ

三、物品ヲ運搬スルニハ先以テ倉庫ニ入ルルハ勿論ナリト雖倉庫ニ入ルルヲ得サルトキハ延燒ノ虞ナキ場所ニ運フヘシ但シ何レモ監視者ヲ附シ嚴重ニ取締ヲ爲スヘシ

四、水災ノ節校舍ニ浸水セントスルトキハ貴重品及書類、圖書其ノ他ノ物品ヲ安全ノ場所ニ運搬スヘシ

第九條　校內ニ於テ失火シタル場合又ハ洪水ニテ校舍浸水セントスル場合ニハ庶務課、會計課、學生課其ノ他當直員ニ於テ先ツ　御眞影並勅語謄本ヲ構內安全ノ場所ニ奉遷警護シ上官ノ指揮ヲ俟ツヘシ

第十條　非常手配掛員ハ別ニ指定ス但シ掛員駈付ケサル間ハ在校者ニ於テ上官ノ指揮ヲ受ケ夫々手配ニ從事スヘシ

第十一條　左ノ非常用具ハ各掛員ニ於テ夫々整頓シ喇筒消火器其ノ他ハ時々之ヲ使用シテ其ノ具合ヲ試ミ常ニ支障ナカラシメンコトヲ要ス

(一) 喇筒　(二) 消火器

(三) 玄蕃桶　(四) 鳶口

(五) 梯子　(六) 運搬用擔架及ヅック袋

(七) 高張提灯及非常用提灯　(八) 蠟燭及摺付木

第十二條　倉庫ノ入口及窓ノ非常戸等ハ掛員ニ於テ時々閉鎖ヲ試ミテ其ノ完全ヲ計リ且ツ目塗用土ハ常ニ所定ノ場所ニ整頓シ臨時使用ニ差支ナキ樣注意スヘシ

第十三條　隔月一回寄宿舍生ヲシテ喇筒使用ノ演習ヲ爲サシムヘシ但シ本演習ノ外第三條ノ信號ヲ報シ臨時ニ演習セシムルコトアルヘシ

第十四條　事變ノ際ニ於ケル寄宿舍生ノ部署ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ學生課員ヲ以テ各其ノ指揮者トス

（寄宿舍生ノ部署ハ別ニ之ヲ定ム）

第十五條　前條各手配ノ配當ハ毎年四月學生課ニ於テ之ヲ定ム

第十六條　事變ニ際シテ駈付タル通學生ハ學生課員ノ指揮ニ從ヒ部署ニ就クヘシ

第二十　清潔方法

第一條　清潔方法ヲ分チテ日常清潔方法、定期清潔方法及臨時清潔方法トス

日常清潔方法

第二條　日常舍内ノ掃除ハ窓戸ヲ開キ塵拂ヲ以テ四周ノ壁、戸、障子、及机、卓子等ヲ拂ヒ如露ヲ以テ牀板、階段及廊下等ニ少シク撒水シテ掃キ出シタル後濕布ヲ以テ机、卓子等ヲ拭フヘシ

第三條　教室ハ授業ノ終リタル後事務室ハ退廳後ニ於テ毎日掃除ヲ爲スヘシ

第四條　教室、事務室ノ牀板ハ毎週一回廊下ハ數回洗拭スヘシ

第五條　寄宿舍ノ廊下、階段ハ毎朝掃除シ必要ニ應シ毎日午後ニ於テ一回撒水ヲ爲シ且ツ毎週一回洗拭スヘシ

第六條　寄宿舍ノ室内ハ生徒ニ於テ小使ノ廊下掃除ヲ爲ス以前ニ掃除ヲ爲スヘシ

第七條　食堂、炊事場、浴室洗面所ハ毎日掃除シ且ツ時々窓戸ヲ開キ空氣ヲ流通セシメ惡臭ノ鬱滯ナキヲ務ムヘシ殊ニ食堂ハ使用ノ前後ニ濕布ヲ以テ食卓ヲ拭ヒ牀面ニ撒水スヘシ

第八條　各室及廊下ニ備付アル唾壺及紙屑籠ハ毎日掃除シ夏期ハ唾壺ニ消毒液ヲ入レテ配置スヘシ

第九條　靴拭ハ毎日掃除スルノ外棕櫚製等ノモノハ快晴ノ日ニ於テ乾燥セシメタル上土芥ヲ拂フヘシ

第十條　便所ノ尿溝及注壁等ハ水ヲ以テ洗ヒ圊房ハ濕布ヲ以テ拭ヒ夏期ハ時々糞壺内ニ防臭藥ヲ撒布スヘシ

第十一條　下水ハ常ニ疏通セシメ炊事場、浴室、洗面所等ノ下水ハ毎月一回以上浚渫スヘシ

第十二條　校舍外不潔ノ場所ハ毎日小使ヲシテ掃除セシムヘシ但シ炊事場、食堂、浴室、洗面所ハ炊夫ヲシテ常ニ舍外近傍ノ不潔場所ヲ掃除セシムヘシ

第十三條　塵芥及下水溝渠等ヲ浚渫シタル汚泥其ノ他ノ不潔物ハ適當ノ場所ニ埋沒又ハ燒却スヘシ

定期清潔方法

第十四條　定期室内大掃除ハ左ノ方法ニ依ル

一、室内ニアル机、卓子、腰掛、戸棚、疊等ヲ室外ニ搬出シ戸障子窓掛ヲ外シ牀板及廊下ニ

撒水シ天井四壁ヲ拂ヒテ後牀面廊下ヲ洗拭シ器具等ハ塵ヲ拂ヒ濕布ヲ以テ洗拭シ得サルモノハ日光ニ曝シテ刷掃スヘシ但シ器械標本及藥品等ヲ配列シアル室ハ其ノ主任敎員ノ指揮ニ從ヒテ掃除スヘシ

二、傳染病患者アリタル室ハ牀下ヲ掃除シ消毒藥（生石灰又ハ石灰乳）ヲ撒布シ且ツ必要ト認ムルトキハ其ノ他ノ消毒法ヲ行ヒタル上前項ノ掃除ヲ爲スヘシ但シ塵芥ハ必ス燒却スヘシ

三、前二項ノ掃除ヲ爲シタル後各室及廊下等ノ窓硝子ヲ內外ヨリ透明ニ拭ヒ窓掛敷物等ハ洗濯シ其ノ洗濯シ得サルモノハ日光ニ曝シテ刷掃スヘシ

四、前三項ハ每年春期施行スヘシ

臨時清潔方法

第十五條　傳染病流行ノ際ニハ全校舍又ハ一部分ニ定期清潔方法又ハ其ノ他ノ方法ニ依リ清潔法ヲ行フモノトス

第十六條　洪水ノタメ水害ヲ被リタル場合ニハ左ノ清潔方法ヲ施行スヘシ

一、水ニ浸サレタル校舍殊ニ寄宿舍ノ建具、牀板等ハ取外シテ空氣ヲ通シ且ツ牀下ノ汚物、泥土ヲ除去シ充分ニ乾燥セシムヘシ

二、建具、牀板、校具等ノ浸水シタルモノハ清水又ハ熱湯ヲ以テ洗拭シタル後可成之ヲ日光ニ曝シ充分ニ乾燥セシムヘシ

三、右ノ外定期清潔方法ニ揭ケタル各項ヲ適宜應用スヘシ

第二十一　守衛服務心得

第一條　守衛ハ本校一般ノ警備取締ニ從事シ受附及郵便物ノ受授ヲ爲スモノトス

前項ノ外上官ノ命ニ依リ臨時他ノ職務ニ從事セシムルコトアルヘシ

第二條　守衛中ニ守衛長一人ヲ置ク守衛長ハ守衛ヲ指揮シ職務上心付キタル事ヲ上官ニ申述スヘシ

第三條　守衛ノ勤務ハ當分ノ間晝夜勤務及晝間勤務トス

第四條　晝夜勤務當番ノモノハ其ノ日ノ晝間受付ニ從事シ晝間勤務當番ノモノハ巡視ヲ爲スヘシ

第五條　晝間勤務ノモノハ退廳時間後各室內ヲ巡視シ戶締ヲ施シ之ヲ晝夜勤務ノモノニ引

繼ヲ爲シタル上ニ非サレハ退出スル事ヲ得ス

第六條　晝夜勤務ノ者ハ前條ノ引繼ヲ受ケタル後ハ主トシテ校舍內外ノ巡視ニ當ル傍受附ヲ兼ヌヘシ

第七條　受付ハ書留以外一切ノ郵便物ヲ受取リ之ヲ郵便物受附簿ニ記載シ直ニ一定ノ係員ニ引繼クヘシ

第八條　巡視ハ巡邏表ニ依リ校舍內外ヲ精密ニ巡察シ各要所備付ノ鍵ヲ以テ順次監査器ヲ卷クヘシ

第九條　巡視中構內ニ於テ異狀ヲ發見シタル時ハ應急ノ處置ヲ爲シ係員ヘ急報スヘシ

第十條　巡視中構內ニ於テ作業ニ從事スル者アル時ハ關係者ノ氏名ヲ糺シ置キ風体擧動不審ノ者ヲ認メタル時ハ係員ニ急報シ其ノ處分ヲ求ムヘシ

第十一條　守衛ハ構內ニ於テ火防又ハ建物保存上危險ト認ムル行爲アルトキハ何人ヲ不問之ヲ注意スヘシ

第十二條　校內ヨリ物品ヲ持出サントスル者アル時ハ係員ノ證明アルモノニ非サレハ之ヲ抗ムヘシ

第十三條　守衛ハ日誌ニ當番氏名及取扱ヒタル事項ノ概要ヲ記載シ翌朝會計課長ニ差出スヘシ

附則

第十四條　巡邏表及巡視時間割ハ別ニ之ヲ定ム

第二十二　常傭人服務心得

第一條　給仕小使農夫ノ服務心得ハ本規程ニヨルヘシ

第二條　勤務時間ハ別ニ定ムルモノノ外午前七時ヨリ午後五時迄トス但シ公務繁劇ノ場合ハ特ニ延長シ夏期ハ之ヲ短縮スルコトアルヘシ

第三條　小使農夫ハ每日一名以上其ノ詰所ニ於テ輪番宿直セシムルコトアルヘシ

第四條　勤務中ハ容儀ヲ正シクシ禮節ヲ重ンシ人ニ接スル時ハ懇切叮嚀ヲ旨トシ傲慢ノ態度アルヘカラス

第五條　火氣ニ注意シ火防上心付キタル事ハ應急ノ處置ヲナシ其ノ顚末ヲ上官ニ申出ッヘ

シ

第六條　新ニ採用セラレタル者ハ消火器ノ使用並ニ水道防火栓利用ノ方法ヲ心得置クヘシ

第七條　炊事場、風呂場、溫室等ノ煙筒ハ別ニ日割ヲ設ケ毎週一回以上掃除ヲナスヘシ

第八條　本校又ハ附近ニ失火其ノ他非常事變アリタル時ハ直ニ駈付係員ノ指揮ニ從フヘシ

第九條　建物及器物ハ叮重ナル取扱ヒヲナシ若シ破損シタルモノアル時ハ直ニ係員ノ手ヲ經テ會計課ヘ申出ツヘシ

第十條　清潔ヲ旨トシ詰所備付ノ物品ハ豫メ配置場所ヲ定メ常ニ之ヲ整頓シ置キ他ヘ紛逸セサル樣注意スヘシ

第十一條　校内ニ於テ遺失物ヲ拾得シタルトキハ場所時刻等ヲ具シ現品ヲ會計課ヘ届出ツヘシ

第十二條　已ムヲ得サル場合ノ外詰所ヘ他人ヲ導キ又ハ濫リニ詰所ヲ離ルヘカラス

第十三條　詰所ニ於テハ特ニ許サレタル場合ノ外濫リニ飲酒ヲナスヘカラス

第十四條　職務上心付キタル廉アルトキハ其ノ旨係員ヘ申出ツヘシ

第十五條　退出ノ際當日取扱ヒタル用務ニシテ未完了ノモノアルトキハ當直者ニ遺漏ナク引繼キ置クヘシ

第十六條　本校職員服務心得第一條乃至第四條及第五條但書ハ之ヲ常傭人ニ準用ス

第十七條　其ノ他必要ノ事項ハ給仕小使ニアリテハ會計課長農夫ニアリテハ係教官ヨリ之ヲ命スル事アルヘシ

第二十三　常傭人被服規程

第一條　本校守衛給仕小使ノ被服ハ別表ノ通リ現品ヲ貸與ス

第二條　被服ハ毎年六月一日ヨリ夏服十月十五日ヨリ冬服ヲ着用セシム

第三條　被服ハ夏服二着冬服一着トシ貸與期限滿了後廢棄ニ付シタルモノハ之ヲ本人ニ給與スルコトアルヘシ

第四條　被服ノ使用期限中解傭セラレタルトキハ現品ヲ返納セシム

別　表

品目	品質	制式	使用期限
冬服	羅紗 黒又ハ紺	竪襟脊廣一行釦	二ヶ年
夏服	小倉 白	同上	一ヶ年
外套(甲)	羅紗 黒	竪襟並形二行釦	三ヶ年
同(乙)	同 黒	半トンビ形	三ヶ年
帽子	羅紗 黒	海軍帽形	三ヶ年
同日覆	木綿 白		二ヶ年
帽章	眞鍮	高農(隷書)	
長靴			二ヶ年
短靴			一ヶ年

給仕

冬服	羅紗 黒又ハ紺	竪襟脊廣一行釦	二ヶ年
夏服	小倉 霜降	同	一ヶ年

小使

冬服	小倉 黒	竪襟脊廣一行釦	一ヶ年
夏服	小倉 霜降	竪襟脊廣一行釦	一ヶ年
帽子	羅紗 黒	海軍帽形	三ヶ年
同日覆	木綿 白		二ヶ年
前掛	木綿 冬霜降 夏白	筒袖付前掛	一ヶ年

雨天外出ノ際ハ防水雨具ヲ貸與スルコトアルヘシ

第二十四　參觀人心得

一、參觀希望ノ方ハ受附ヘ職業、住所、氏名又ハ團体名、人員、引率者職氏名等ヲ申出テラレ

タシ但シ學校ノ都合ニ依リ御斷リスルコトカアリマス

二、參觀人ハ案內者ノ指揮ニ從ヒ勝手ニ諸室ヘ入テハナリマセン

三、校舍其ノ他各室內ヘ土足又ハ汚レタル靴ノ儘ニテ入テハナリマセン

四、校舍內ニ在リテハ帽子外套ヲ着用シ又ハ杖傘ノ類ヲ携帶シテハナリマセン

五、左ノ事項ハ御斷リ致シマス

(一) 參觀中喫煙スルコト

(二) 校舍內ニテ唾壺以外ニ唾唾ヲ吐クコト

(三) 喧噪雜話スルコト

(四) 作物標本其ノ他物品ニ手ヲ觸ルルコト

(五) 勝手ニ道路以外田園內ニ立チ入ルコト

第三章　職員

（昭和四年十一月一日現在）

學校長　正四位勳三等　農學博士　農學博士　山田玄太郎

教授

正五位勳五等　農學士　半澤虎太郎　肥料學、土壤學及實驗

農學士　山田玄太郎　農業藥物學　農藝化學科長　教務課長

植物學特別講義（兼）學校長

在外研究中

従五位勳六等　農學士　平野英一　農具學、測量學及農業

従五位　農學士　田中作治郎　土木學、農業工學、物理學及氣象學及實驗

従五位　農學士　角倉邦彥　生物化學及實驗、分析化學

従五位　農學士　本橋平一郎　植物榮養學

正六位　農學士　西川英次郎　畜產學、畜產製造學、獸醫學大意及實驗實習

正六位　農學士　猪股修二郎　醱酵生理學、應用菌學、農產製造學及實習實驗、英語

正六位　農學博士　農學士　石川潤一　動物學及昆蟲學、養蠶學及實驗、動物學特別講義

陸軍輜重兵少尉　作物學及育種學實驗

實驗農場長　實驗遺傳學及實驗實習

化學及分析、數學、物理化學　生徒主事
工業化學、機械學　學生課長
食品化學及實驗、家畜榮養學、有機化學
林學大意、獨逸語
植物學特別講義
法學大意及農業法規
植民政策及植民地產業論
經濟學、農業政策、英語
鑛物學及地質學、無機化學及分析及實驗
修身、教育學、英語
植物學及植物病理學及實驗
植物學特別講義

助教授

農場實習　生徒主事補

農業工學、測量學及農業土木學及實習
養蠶學及實驗實習
農場實習　生徒主事補

從六位　農學士　山桝忠好
從六位　工學士　河崎武矣
從六位　農學士　武田憲治
從六位　林學士　原勝
正七位　農學士　金子平一
正七位　農學士　原田光
正七位　文學士　井森陸平
從七位　農學士　平塚直秀

農學得業士　山崎要助
林學得業士　伊藤敬二郎
小野正男
農學得業士　久保佐士美

農藝化學實驗　生徒主事補

植物學及植物病理學實驗
園藝學、農場實習、作物學及園藝學實驗

助手

實驗農場
應用菌學實驗室

配屬將校

教練

講師

體操學生課勤務
肥料學
農業經營學
農藝化學實驗

陸軍歩兵少尉　正八位　細田克巳
農學得業士　松浦勇
農學得業士　山田周平

農學得業士　森岡滉
農學得業士　長谷川三郎

歩兵第四聯隊　陸軍歩兵中佐　正六位勳四等　福原二一

陸軍歩兵少佐　從五位勳四等　五藤慶治
農學博士　農學博士　恒藤規隆
農學士　柴田直治
農學得業士　押田通

鳥取縣小作官補

農場實習

囑託

學校醫　農學得業士　田村五郎

武術教師（柔道）　醫學士　石河利三

武術教師（劍道）　鳥取縣立鳥取第一中學校教諭　長石俊男

鳥取縣師範學校教諭　關山久行

書記

會計課長　正七位勳七等　井口虎次郎

庶務課長　從七位勳八等　加藤節藏

會計主任收入官吏
物品會計官吏

教務課兼庶務課　山本雷

圖書館兼會計課　山根信

實驗農場兼會計課　佐々木蕃一

教務課兼勤
官報報告主任

雇

學生課　陸軍步兵特務曹長勳七等　安達勝治

會計課　陸軍上等看護長勳七等　笹尾重隆

會計課　井上永治

庶務課兼教務課　陸軍步兵少尉正八位　本郷邦春

會計課　海軍一等兵曹勳八等　馬場治美

會計課　吉田政治

植物學實驗室　影井吉太郎

實驗農場　井關久夫

圖書館　橫山健次郎

動物學實驗室　村上次郎

實驗農場　尾崎忠實

生物化學實驗室　田中實

囑託助手

體操　陸軍步兵特務曹長　山本眞澄

物理學實驗室
實驗農場
實驗農場
農產製造學研究室
實驗農場
土壤肥料學實驗室
作物學實驗室
植物學實驗室
食品化學實驗室

第四章　學生及卒業生

第一　學生氏名

（ABC順）

○農學科　第三學年

【一〇〇】

影山泛美
廣岡辰三
西尾猛雄
勝山福彦
飯田巖
佐々木壯六
有吉清
松本武夫
長畑宗明

福島甲一（島根）
波當根嘉之（鳥取）
廣永修之助（山口）
石井輝士（福岡）
小谷喜彦（鳥取）
菜引才司（鳥取）
小野稔（岡山）
皿谷元春（廣島）
島崎眞行（高知）
城九一雄（石川）
竹下和雄（島根）
上村穰（島根）
八島秋次郎（廣島）

古林利德（鳥取）
日比俊夫（鳥取）
廣岡廣一（兵庫）
川上大治（岡山）
的場進（京都）
中田吉雄（鳥取）
小野忠則（山梨）
佐々木守成（鳥取）
進士義雄（靜岡）
高橋耕二（島根）
田村勇（島根）
梅田新藏（島取）
横井壽二（鳥取）

土師功（鳥取）
平山義人（熊本）
細田清（島根）
木南喜代治（鳥取）
森本茂（鳥取）
小野英敏（高知）
佐久保正造（島根）
鹿田三郎（島取）
塩見乾（京都）
高瀨孝一（富山）
鳥飼元（鳥取）
山下俶二郎（島根）
吉田安雄（島根）

【一〇一】

○農學科　第二學年

淺田顯一（京都）　福本嵩（兵庫）　繁澤眞澄（山口）
平川昌三（廣島）　池山泰之（鳥取）　石津章堂（山口）
糸賀繁人（島根）　岩水忠夫（島根）　笠木勝俊（鳥取）
川建勇（岡山）　岸本光男（鳥取）　小阪一夫（大阪）
丸山武男（兵庫）　松山操（岡山）　前川俊雄（兵庫）
水根昌實（鳥取）　森輝之（岡山）　永松三衛（山口）
中岡正人（廣島）　西芳彦（和歌山）　岡本楢治郎（奈良）
崔應植（朝鮮）　齊藤富雄（新潟）　鈴山九十九（岡山）
田村隆治（山口）　田中喜次（石川）　戸田忠兵衛（奈良）
局巖（福岡）　内田玄（島根）　上原馨（鳥取）
渡邊文穗（鳥取）　渡邊登（岡山）　山田厚志（鳥取）
山田勳（鳥取）　山田健吉（滋賀）　山田光雄（佐賀）

保江正義（岡山）　弓立忍（愛媛）

○農學科　第一學年

藤重智世生（山口）　長谷部與一（岡山）　長谷川喜亮（島根）
橋岡良夫（大阪）　林馨（兵庫）　堀田春道（愛媛）
池田洋四郎（佐賀）　片岡繁男（廣島）　河合大三郎（鳥取）
片山貞吾（岡山）　木村敏（鳥取）　岸田新八郎（鳥取）
甲邊繁（島根）　町田祐三（群馬）　萬藤運惠（山口）
三日月直之（愛媛）　三島武（島根）　宮本新藏（廣島）
籾岡博（鳥取）　森山寶（島根）　仲西新二（京都）
繩田又太郎（鳥取）　西田武雄（岡山）　大庭玉治（島根）
岡崎正信（島根）　大元操（廣島）　太田正（岡山）
大歲計夫（兵庫）　聒相衡（中華民國）　佐々木勳（鳥取）
瀨川彌太郎（京都）　下方滿治（山口）　住村安雄（鳥取）

高橋惣市（鳥取）　田中豊（鳥取）　寺谷茂夫（鳥取）

德田巖（岡山）　瓜生知助（岡山）　和田平八郎（岡山）

山田義郎（岡山）　山根二郎（鳥取）　山崎永雄（鳥取）

橫山與美行（廣島）　吉次光郎（鳥取）

○農學科　研究生

小谷英二（鳥取）

○農藝化學科　第三學年

荒川儀美（廣島）　近間映良（山口）　出口長利（大分）

藤井光禎（鳥取）　福井滿男（鳥取）　福島正男（鳥取）

古田喜久治（鳥取）　平野文雄（福島）　廣瀨甚吉（德島）

本多節造（鳥取）　石丸謀（愛媛）　磯野幸雄（鳥取）

菅田五夫（岡山）　川崎善一（福井）　河重忠（山口）

小泉英夫（鳥取）　中村喜久雄（大阪）　成瀨達郎（鳥取）

岡田卓穗（京都）　芝田明正（鳥取）　瀧進（佐賀）

谷山律三（愛媛）　德永鐵藏（鳥取）　上田治一（岐阜）

渡邊知巳（兵庫）　山田芳藏（鳥取）　山本稔（鳥取）

柳瀨正光（岐阜）　吉村甚吉（鳥取）

○農藝化學科　第二學年

阿部忠夫（廣島）　赤木要男（岡山）　赤松隆（兵庫）

福田良正（鳥取）　福谷貞胤（鳥取）　羽月龜雄（宮崎）

石本茂美（山口）　岩本運治（山口）　岩崎利夫（兵庫）

衣川美佐男（京都）　北枝敏彰（山口）　近藤貞治（鳥取）

增井速水（鳥取）　松本達二（岡山）　米良正雪（熊本）

森本松夫（島根）　七里能憲（鳥取）　西尾三郎（鳥取）

小川壽一（鹿兒島）　岡野周一（石川）　太田阿佐（鳥取）

太田垣貞保（兵庫）　園山眞一（島根）　田中永治（鳥取）

渡邊至剛（愛媛）　瓜生從次（福岡）　山根史郎（岡山）
横木稔（鳥取）　米澤皎平（鳥取）

○農藝化學科　第一學年

赤川正二（山口）　雨河敏郎（鳥取）　福田昌一（鳥取）
井手忠雄（岡山）　稻垣恒雄（奈良）　梶谷榮一（兵庫）
金子敬三（山口）　唐内平三（廣島）　河村勝（山口）
北脇千吉郎（鳥取）　小林克己（京都）　小谷英男（鳥取）
神武半十郎（福岡）　松林開三（廣島）　松浦守（島根）
水本貞雄（兵庫）　成田功（青森）　恩田春治（鳥取）
進野岳夫（福岡）　鷲見一夫（鳥取）　田村光顯（山口）
田中篤（鳥取）　田中祐彦（鳥取）　德岡一夫（兵庫）
峠本曉（廣島）　渡邊房夫（愛媛）　渡邊改治（鳥取）
山田昇（東京）　米村功（鳥取）　吉村正章（鳥取）

吉岡等（大阪）

○農藝化學科　研究生

伊藤康夫（島根）

第二　卒業生氏名

（ＡＢＣ順）（氏名ノ上ニ×印ヲ附スルハ死亡ノモノ）

農學科

○大正十三年三月十八日卒業（第一回）（三十一人）

青野喜市（愛媛）　千代間武夫（京都）　後藤義雄（大分）
今峰英三（岐阜）　門脇基（鳥取）　神田美能留（岐阜）
樫尾久三（和歌山）　近藤壽雄（鳥取）　久保佐土美（高知）（岸改）
黒田松雄（鳥取）　松崎忠義（島根）　宮崎重雄（鳥取）
宮崎義雄（鳥取）　森岡滉（鳥取）　護田浩二（鳥取）
中務三郎（大阪）　縄田源太郎（鳥取）　二宮丈夫（愛媛）

錦織常市（島根）　西尾愛治（鳥取）　樋口庄嗣（奈良）
（西尾四郎改）
野津要三郎（島根）　砂口行衛（鳥取）×竹内信（新潟）
玉利幸次郎（鹿児島）　田中彰一（鳥取）　田中嘉男（鳥取）
谷口武雄（鳥取）　上田博愛（鳥取）　山本益雄（鳥取）
吉川忠雄（高知）

○大正十四年三月十五日卒業（第二回）（三十四人）

藤井順次郎（福岡）　深水五郎（熊本）　東野太一郎（滋賀）
伊木榮（鳥取）　今岡俊男（島根）　井上修一（香川）
伊藤庄次郎（滋賀）　岩田秀夫（鳥取）　神田武（廣島）
×川口耐三（鹿児島）　河本直正（岡山）　河村勝（福岡）
（近藤改）
北脇鷹一（島根）　小池鑑一（静岡）　依田清（岡山）
萬治幸長（鳥取）　松本弘義（鳥取）　松浦勇（島根）
中島丈夫（兵庫）　西田忠一郎（滋賀）　野田愛三（鳥取）

太田勝造（大阪）×重松天津男（佐賀）　島村豊（島根）
清水源次郎（廣島）×清水清（愛知）　田淵誠夫（鳥取）
寺島宣之（鳥取）　富樫吉男（山形）　植原外三（兵庫）
山本茂和（鳥取）　柳喜徳（鹿児島）　横田尚憲（島根）
米田盛（兵庫）

○大正十五年三月十五日卒業（第三回）（三十五人）

安藤史郎（岐阜）　土井義行（鳥取）　江間繁雄（大阪）
遠藤茂（鳥取）　小山理朗（藤村改）（石川）　濱崎正太郎（和歌山）
原田種文（福岡）　原田好美（福岡）　早川昇（滋賀）
×今村晋之助（滋賀）　石原隆作（新潟）　筧泰雄（鳥取）
河本實雄（鳥取）　河村駒市（島根）　近藤守男（福岡）
河野肇（愛媛）　河野照義（愛媛）　松永數夫（福岡）
長尾信一（和歌山）　中尾順右衛門（島根）　大賀正男（鳥取）

尾平正義（鳥取）　伊藤軍次（愛知）　櫻井生三（長野）
進藤辰雄（山梨）×高岡義廣（静岡）　酒井武治（新潟）
田村善造（島根）　田村敬之（廣島）　鳥羽隆（三重）
徳田二郎（鳥取）　宇野重種（島根）　矢野寅重（愛媛）
吉田正人（山口）　吉岡義民（鳥取）

○大正十五年四月九日卒業（一人）

大井輯（愛媛）

○大正十五年十月十九日卒業（一人）

松坂彌（和歌山）

○昭和二年三月十五日卒業（第四回）（三十六人）

千原英三（島根）　福原提海（廣島）　石井春平（鳥取）
石河好武（鳥取）　伊藤健一（愛知）　岩崎淡紅郎（島根）
上林忠次（京都）　神田巖（島根）　片岡武雄（廣島）
木下貞治（鳥取）　近藤禮吉（鳥取）　小刀留三（廣島）
前島虎雄（鳥取）　前田俊三（奈良）　松山精（長崎）
森本嘉右衛門（鳥取）　森本三郎（鳥取）　森友政勝（福岡）
村上博靖（鳥取）　村尾榮治（兵庫）　長岡亮（京都）
中山幸太郎（静岡）　西原吉輝（鳥取）　西村春樹（廣島）
岡本義一（兵庫）　瀬尾喜代藏（鳥取）　相馬丑五郎（栃木）
高橋清（鳥取）　高柳良一（富山）　竹内多（福岡）
玉井忠彦（山口）　谷口定次郎（鳥取）　徳永延一郎（愛媛）
山增重雄（鳥取）　山崎譽時（鳥取）　吉野剛（島根）

○昭和二年十月十三日卒業（一人）

山内訥（宮崎）

○昭和三年三月十五日卒業（第五回）（三十六人）

相生四郎（福岡）　有吉清（山口）　藤田繁夫（奈良）

船木通夫（島根）　蜂巣敏（群馬）　一木久（宮崎）
影山泛美（鳥取）　蠣田春夫（廣島）　金塚榮市（島根）
金致琨（朝鮮）　小谷英二（鳥取）　倉原永利（大分）
倉光久四郎（福岡）　松本榮（鳥取）　三宅利雄（岡山）
椋貞男（島根）　中川元輿（岡山）　中井元四郎（鳥取）
中村勝一郎（富山）　西尾（中尾改）猛雄（鳥取）　仲宗根文雄（沖繩）
小椋重稔（鳥取）　大原清（山口）　奥田文夫（京都）
澄川正利（島根）　高橋義孝（山形）　田邊九八（鳥取）
寺井孫之介（島根）　寺本勇作（石川）　富樫稔（山形）
豊岡治平（岡山）　塚本正美（兵庫）　山田周平（愛媛）
山之口末吉（宮崎）　横木福美（鳥取）　横田信夫（岡山）

○昭和四年三月十五日卒業（第六回）（四十人）

淺野鎭（岡山）　淺沼喜道（鳥取）　福井伊佐雄（奈良）

後藤惠二郎（鳥取）　飯田巖（大分）　林國三郎（島根）
廣岡辰三（鳥取）　稻葉丈夫（三重）　猪股隆二郎（東京）
犬伏明三郎（德島）　岩崎藤助（島根）　加藤裕（愛媛）
川口淺治（鳥取）　黃成煒（朝鮮）　小谷繁雄（鳥取）
河野寅之助（愛媛）　久保與三郎（長野）　增野等（島根）
松本武夫（鳥取）　三國佐雄（山口）　宮石俊治（鳥取）
森山廣信（島根）　中村秀夫（兵庫）　仲埜隆治（兵庫）
中尾治幸（福岡）　大島佐吉（島根）　大城甚榮（沖繩）
齋藤英策（富山）　關根善之助（神奈川）　清水三郎（鳥取）
高橋正男（島根）　津川長治（奈良）　植村義保（兵庫）
浦木孝一（鳥取）　宇和野次男（宮城）　渡邊敏雄（山口）
藪中利一（和歌山）　山際義鷹（大分）　山根顯（島根）
矢野貞治（島根）

○大正十三年三月十八日卒業（第一回）（二十一人）

秋本信吉（鳥取）　荒川佐千代（宮崎）　粟野宗一（兵庫）
×幅田洋美（鳥取）　細田克巳（島根）　伊庭勇（鳥取）
井口透（福島）　今井次郎（宮城）　小針光一（福島）
松田清勝（鳥取）　村雲謙次郎（愛知）　永見一男（鳥取）
南部節夫（鳥取）　野海武徳（島根）　尾中文彦（兵庫）
小山内行雄（北海道）　杉本登（高知）　田所環（高知）
田中正一（愛知）　吉田亮（鳥取）　吉岡丈夫（鳥取）

○大正十三年四月一日卒業（一人）

島津彰一郎（北海道）

○大正十四年三月十五日卒業（第二回）（二十二人）

安東富次（岡山）　福井倍夫（鳥取）　長谷川勇雄（兵庫）

平中庄三郎（滋賀）　飯岡藤一郎（茨城）　伊藤康夫（島根）
柿原喜多朗（愛知）　岸田大八郎（鳥取）　松本由友（島根）
松岡等（香川）　三木公徳（鳥取）　盛清彦（鹿兒島）
大槻健藏（兵庫）　佐久間芳之（岐阜）　佐野英雄（靜岡）
佐々木昌（島根）　澤正治（鳥取）　竹内鐵二（鳥取）
田中（山本改）憲太郎（鳥取）　矢木博（鳥取）　米村宇惠男（鳥取）
吉野榮（千葉）

○大正十五年三月十五日卒業（第三回）（二十六人）

安藤典夫（鳥取）　榎木伊八（滋賀）　長谷川三郎（新潟）
伊壖茂福（鳥取）　岩城國武（鳥取）　陳內博喜（熊本）
柿原（金原改）尙夫（愛知）　金田義久（島根）　金章鉉（朝鮮）
古田保平（靜岡）　熊谷靜雄（島根）　松浦章（廣島）
仲原善一（鳥取）　中原喜一（鳥取）　仲村渠榮介（沖繩）

岡本俊二（兵庫）　岡坂貞夫（香川）　太田忠善（鳥取）
大谷義夫（愛媛）　四宮守正（鳥取）　高崎良一（三重）
玉井清八（兵庫）　田中達雄（岡山）　上田康夫（鳥取）
山田茂夫（石川）×山田與一（長崎）

○昭和二年三月十五日卒業　（第四回）（二十七人）

穴山逸民（鳥取）　麻川渉（岡山）　福田千代巳（鳥取）
古川對馬（長崎）　原田富造（兵庫）　田中（林原改）義英（鳥取）
日比英夫（鳥取）　樋口新吾（佐賀）　平松種將（愛媛）
伊庭正道（鳥取）　伊吹庄治（鳥取）　板倉一郎（廣島）
北山潔（鳥取）　正木十二郎（廣島）　森猛雄（福岡）
西崎章夫（兵庫）　岡田剛（島根）　佐野道五郎（愛知）
佐々木壯六（東京）　澁山益雄（島根）　鹿田二郎（鳥取）
清水生禾（廣島）　高橋俊夫（鳥取）　鶴石壽男（鳥取）

宇都宮要（愛媛）　八幡伊鹿（島根）　山根東一（鳥取）

○昭和二年六月一日卒業　（一人）

山本勇一（兵庫）

○昭和三年三月十五日卒業　（第五回）（二十二人）

福田辰治（鳥取）　福田哲夫（長崎）　林正植（廣島）
平賀賢三（廣島）　平和健吉（京都）　井上辰男（新潟）
石濱省吾（茨城）　岩田精（島根）　宮城清昌（沖繩）
三好治男（山口）　三澤喜一（東京）　六宗太夫（廣島）
岡村源次（山口）　奥田武雄（鳥取）　押田通（兵庫）
田北四郎（大阪）　田中光德（鳥取）　田中耕（鳥取）
谷口晴敏（鳥取）　馬田豊（和歌山）　山根駿甫（山口）
横山太郎（島根）

○昭和四年三月十五日卒業　（第六回）（二十六人）

近政熊治（岡山）　福田四郎（島根）　舟岡直次（富山）
古谷貞治（山口）　花谷薫（廣島）　平井綱太郎（奈良）
細田芳人（島取）　細川信雄（和歌山）　市谷義正（島取）
石橋整吾（岡山）　加藤左武郎（新潟）　勝山福彦（島取）
小林源吉（奈良）　小久江良太郎（島取）　長畑宗明（福岡）
小川幸男（島取）　岡本操（兵庫）　太田誠一（靜岡）
關嘉雄（秋田）　新本三吾（廣島）　田村五郎（岩手）
友長榮（岡山）　和田一良（高知）　山本靜治（山口）
安田安治郎（京都）　横山春男（島取）

第三　學生年齡

（昭和四年十月末日現在）

種別	最高	最低	平均
農學科 第一學年	二十四年七月	十七年八月	十九年四月
農學科 第二學年	二十六年十一月	十八年九月	二十年四月
農學科 第三學年	二十四年九月	十八年十月	二十一年十月
農藝化學科 第一學年	二十五年八月	十七年九月	十九年七月
農藝化學科 第二學年	二十七年十月	十八年八月	二十一年二月
農藝化學科 第三學年	二十五年十月	十九年四月	二十二年

第四　在學生府縣別調

（昭和四年十月末日現在）

府縣名	農學科 第一學年	第二學年	第三學年	研究生	計	農藝化學科 第一學年	第二學年	第三學年	研究生	計	合計
青森縣						一				一	一
福島縣								一		一	一
群馬縣	一						一			一	一
東京府											

新潟縣	富山縣	石川縣	福井縣	山梨縣	岐阜縣	靜岡縣	滋賀縣	京都府	大阪府	兵庫縣	奈良縣
								二	一	二	
一		一					一	一	一	三	二
	一	一		一		一		二		一	
二	一	二						五	二	六	二
								一	一	三	一
		一								三	
								一	一	一	
				一				二		二	
								一		一	
								二		七	二
		二						二		一三	三
二	一	三		一				七		一四	四

和歌山縣	鳥取縣	島根縣	岡山縣	廣島縣	山口縣	德島縣	愛媛縣	高知縣	福岡縣	佐賀縣	熊本縣
	一三	六	八	四	三		二			一	
一	八	三	六	二	四		一		一	一	
	一四	九	二	二	一			二	一		一
	一										
一	三六	一八	一六	八	八		三	二	二	二	二
一	一一		一	四	四		一		二		
	一〇	二	三	二	三				一		一
	一三		一	一	二	一	二			一	
		一									
	三四	三	五	七	九	一	三		三	一	二
一	七〇	二一	二一	一五	一七	一	六	二	五	三	二

大分縣															
宮崎縣															
鹿兒島縣															
朝鮮		一													
中華民國	一														
計	四四	三八	三九	一	一二二	三一	二九	二九	一	九〇	二一二	一	一	一	一

第五　入學志願者及入學者數

	農學科						農藝化學科						合計	
	中學校出身者		實業學校出身者		計		中學校出身者		實業學校出身者		計			
	入學志願者	入學者	入學志願者	入學者	入學志願者	入學者	入學志願者	入學者	入學志願者	入學者	入學志願者	入學者		
大正十年	一〇二	三三	一〇三	七	二〇五	四〇	五二	二〇	六五	一〇	一一七	三〇	三二二	七〇
大正十一年	四四	二一	八一	二〇	一二五	四一	三三	二二	三一	一〇	六四	三二	一八九	七三
大正十二年	四七	二〇	一一三	一九	一六〇	三九	四三	一八	四六	一一	八九	二九	二四九	六八
大正十三年	二五	一五	六〇	二四	八五	三九	一九	一五	二六	一五	四五	二八	一三〇	六七
大正十四年	六一	二〇	八五	二一	一四六	四一	六五	二〇	四六	九	一一一	二九	二五七	七〇
大正十五年	六三	一八	八六	二四	一四九	四二	三九	二三	二〇	一〇	五九	三三	二〇八	七五
昭和二年	七七	一九	九四	一八	一七一	三七	六一	一八	三三	八	九四	二六	二六五	六三
昭和三年	一二七	二四	七三	一七	二〇〇	四一	八六	二八	三二	二	一一八	三〇	三一八	七一
昭和四年	一三〇	二一	五〇	二〇	一八〇	四一	八七	二四	二三	六	一〇九	三〇	二八九	七一

第六　卒業生卒業後ノ狀況

（昭和四年十月末日現在）

種別	農學科	農藝化學科	計
官吏	五一	三七	八八
農業學校教員	四五	二〇	六五

第七

科別		農學				
年齡		十八年	十九年	二十年	二十一年	二十二年
身長	總長	7,950	29,232	41,050	52,328	34,188
	平均	1.586	1.624	1.642	1.688	1.628
体重	總重	260.100	995.400	1.428.400	1.777.875	1.186.710
	平均	52.020	55.300	57.136	57.358	56.510
胸圍	總長	4.100	14.980	21.015	26.257	17.892
	平均	.820	.832	.841	.837	.852
發育概評	甲	1	8	12	15	14
	乙	2	7	10	15	6
	丙	2	3	3	1	1
營養	甲	1	8	12	14	13
	乙	3	8	12	16	8
	丙	1	2	1	1	
脊柱	正	4	17	24	24	19
	彎	1	1	1	7	2
視力及屈折狀態 正視	兩眼	4	7	15	17	14
	一眼		2	3		
遠視	兩眼			1	1	2
	一眼					
近視	兩眼	1	9	5	13	5
	一眼		2	5		
亂視及其他	兩眼					
	一眼					
色神	異狀		1	2		
眼疾	檢查人員	5	15	12	7	1
	トラホーム					
	其他					
聽力耳疾	障害アル者					
齒牙	齲齒アル者	1	6	4	1	1
其他ノ病疾	異狀					
監察ヲ要スル者						
檢查人員		5	18	25	31	21

中等學校教員	一四	一八	三二	二一五	一四六	三六一	
農業技術員	三二	一四	四六				
家業ニ從事	四五	三三	七八				
大學在學生	一一	七	一八				
會社員	一〇	一二	二二				
兵役	一	二	三				
在外國	一	一	二				
死亡	五	二	七				
合計	二一五	一四六	三六一				

第七　學生身體檢查統計

【昭和四年四月檢查】

科別		農學科									農藝化學科									
年齡		十八年	十九年	二十年	二十一年	二十二年	二十三年	二十四年	二十五年	二十六年	十八年	十九年	二十年	二十一年	二十二年	二十三年	二十四年	二十五年	二十六年	二十八年
身長	總長	7,930	29,232	41,050	52,328	34,188	21,450	3,132	6,568	1,630	1,610	32,836	29,798	27,999	19,674	14,751	4,950	3,392	4,974	1,661
	平均	1,586	1,624	1,642	1,688	1,628	1,650	1,566	1,642	1,630	1,610	1,642	1,655	1,647	1,640	1,639	1,650	1,696	1,658	1,661
体重	總重	260,100	995,400	1,428,400	1,777,875	1,186,710	745,800	105,600	223,360	55,000	46,000	1,064,830	1,085,220	951,340	686,640	528,300	174,000	119,800	175,440	52,520
	平均	52,020	55,300	57,136	57,358	56,510	57,370	52,800	55,840	55,000	46,000	53,242	60,290	55,960	57,220	58,700	58,000	59,900	58,480	52,520
胸圍	總長	4,100	14,980	21,015	26,257	17,892	10,125	1,736	3,440	,840	,815	16,595	15,318	14,237	10,135	7,830	2,472	1,764	2,514	,820
	平均	,820	,832	,841	,837	,852	,779	,868	,860	,840	,815	,830	,851	,837	,844	,870	,824	,882	,838	,820
發育概評	甲	1	8	12	15	14	6	1	2	1		6	11	6	5	5	1	2	2	
	乙	2	7	10	15	6	7		2			8	7	7	6	4	2			1
	丙	2	3	3	1	1		1			1	6		4	1				1	
營養	甲	1	8	12	14	13	5	1	2	1		6	10	5	5	5	2	2	2	
	乙	3	8	12	16	8	8		2			10	8	10	6	4	1			1
	丙	1	2	1	1			1			1	4		2	1				1	
脊柱	正	4	17	24	24	19	12	2	4	1	1	20	17	16	12	8	3	1	3	1
	彎	1	1	1	7	2	1						1	1		1		1		
視力及屈折狀態 正視	兩眼	4	7	15	17	14	9	1	2	1		8	4	10	5	5				
	一眼		2	3			2	1				1	1	1		1				
遠視	兩眼			1	1	2							3	1						
	一眼						1							2						
近視	兩眼	1	9	5	13	5	2		2		1	11	11	4	7	3	3	2	3	1
	一眼		2	5			1	1				1	1	1		1				
亂視及其他	兩眼																			
	一眼														1					
色神	異狀		1	2					1											
眼疾	檢查人員	5	15	12	7	1	1		1		1	13	8	4	3			1		
	トラホーム																			
	其他																			
聽力	障害アル者																			
耳疾																				
齒牙	齲齒アル者	1	6	4	1	1	2		2			2	2	2						
其他ノ病異狀																				
監察ヲ要スル者																				
檢查人員		5	18	25	31	21	13	2	4	1	1	20	18	17	12	9	3	2	3	1

鳥取高等農業學校校友會會則

第一章　名稱

第一條　本會ハ鳥取高等農業學校校友會ト稱ス

第二章　事務所

第二條　本會ノ事務所ハ鳥取高等農業學校内ニ置ク

第三章　目的

第三條　本會ノ目的ハ會員相互ノ親睦ヲ厚クシ智識ノ交換ト心身ノ修養ヲ計リ校風ヲ發揚スルニアリ

第四章　會員資格

第四條　本會會員ヲ分チテ左ノ三種トス

一　通常會員　本校本科專科在學生

鳥取縣實業補習學校教員養成所在學生

一　賛助會員　　本校職員及本校緣故者

第五章　會員義務

第五條　通常會員ハ會費トシテ毎學期金五圓ヲ納ムルモノトス一旦納付シタル會費ハ如何ナル事情アルモ之ヲ返付セス

第六條　通常會員ハ入會ノ際入會費トシテ金五圓ヲ納ムルモノトス但シ鳥取縣實業補習學校教員養成所在學生ニハ入會金ヲ徴收セス

第七條　在校賛助會員ハ毎月月俸ノ千分ノ五ヲ出金スルモノトス

第八條　校外賛助會員ハ毎年金壹圓以上出金スルモノトス但シ一時ニ金拾圓以上出金シタル者ハ爾後會費ヲ要セサルモノトス

第六章　會務分掌

第九條　本會ノ目的ヲ達セン爲メ左ノ十七部ヲ置ク

庶務部　辯論部　出版部　繪畫部　寫眞部　音樂部
柔道部　劍道部　弓道部　角力部　競技部　卓球部
庭球部　野球部　蹴球部　水泳部　山岳部　邦樂部

第七章　役員

第十條　本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長　一名　本校校長ヲ推戴ス
副會長　二名　本校各科長ヲ推戴ス
部長　若干名　在校賛助會員
副部長　若干名　同　上
委員　若干名　通常會員

第十一條　庶務及會計ヲ處理スル爲本校職員中ヨリ庶務主任、收入主任、支出主任ヲ囑託ス

第八章　役員ノ任務

第十二條　會長ハ本會一切ノ事務ヲ總理ス

第十三條　副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス

第十四條　部長ハ部務ヲ掌理ス

第十五條　委員ハ部長ノ指揮ヲ受ケ部務ニ從事ス

第九章　役員ノ任期

第十六條　部長ノ任期ハ一箇年トシ毎年四月會長之ヲ委囑ス

第十七條　委員ハ通常會員ノ互選ニ依リ之ヲ定メ其任期ハ一箇年トシ毎年十二月ヲ以テ改選ノ期トス

第十章　會計

第十八條　本會ノ會計年度ハ毎年四月ニ始リ翌年三月ニ終ル

第十九條　本會ノ收支豫算ハ役員會ノ決議ヲ經ルモノトス

第二十條　本會ノ收支豫算ハ次年度ノ始ニ於テ報告ス

第二十一條　校外賛助會員ノ納入シタル一時金、毎會計年度ノ剩餘金及寄附金ハ基本金ニ編入スルモノトス但シ總會ノ決議ヲ經テ其ノ一部又ハ全部ヲ臨時費又ハ經常費ニ編入スルコトヲ得

第二十二條　基本金ノ利子ハ普通會計ノ收入ニ編入スルモノトス

第十一章　雜則

第二十三條　各部細則ハ部長之ヲ定メ會長ノ認可ヲ受クルモノトス

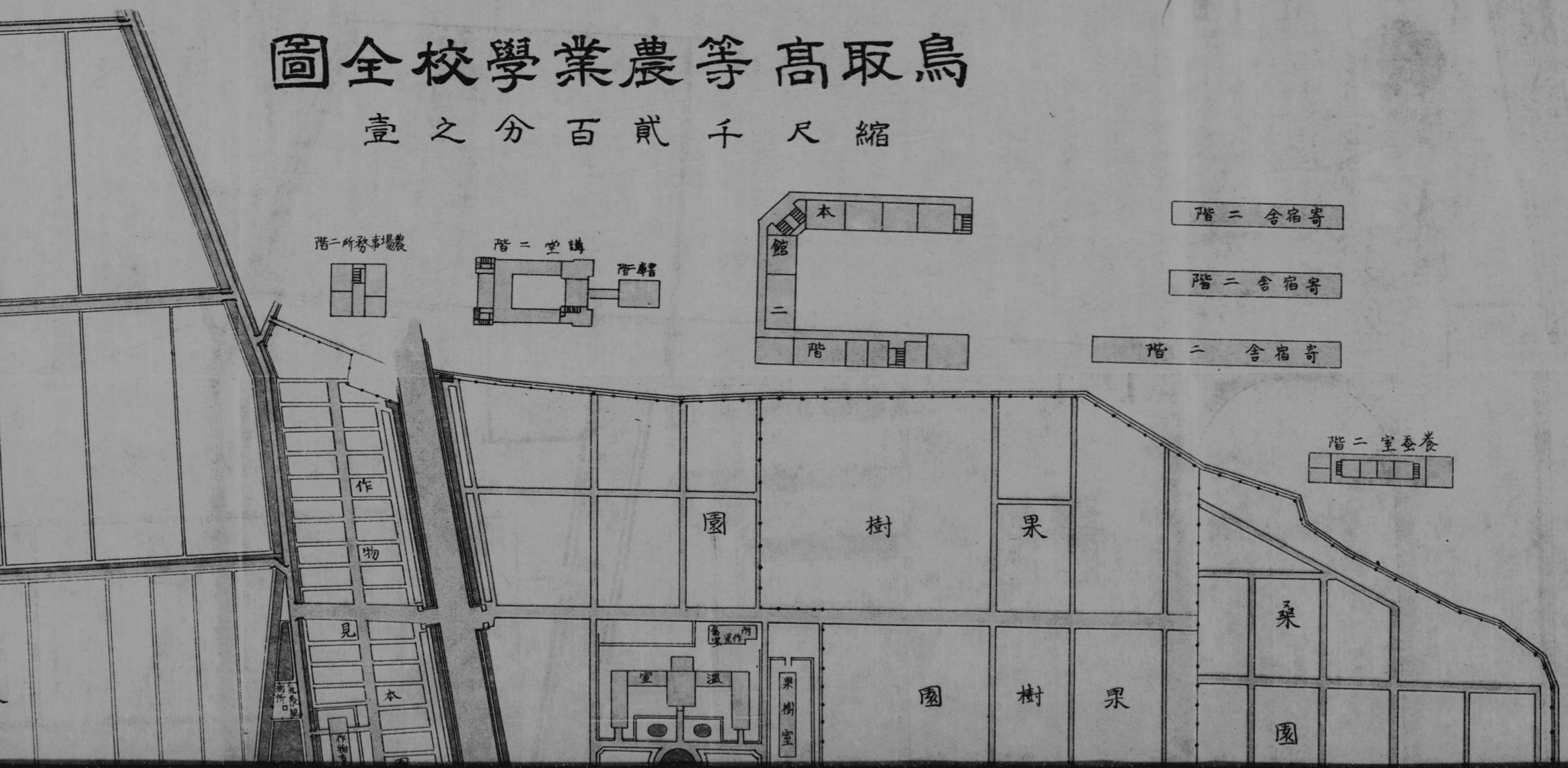
第二十四條　本會ハ毎年四月總會ヲ開ク但シ時宜ニヨリ臨時總會ヲ開クコトアルヘシ

第二十五條　本則ハ總會ニ於テ出席者ノ半數以上ノ賛成者アルニアラサレハ變更スルコトヲ得ス

第二十六條　會員ニシテ不都合ノ行爲アリト認ムル者ハ役員會ノ決議ニヨリ除名スルコトアルヘシ

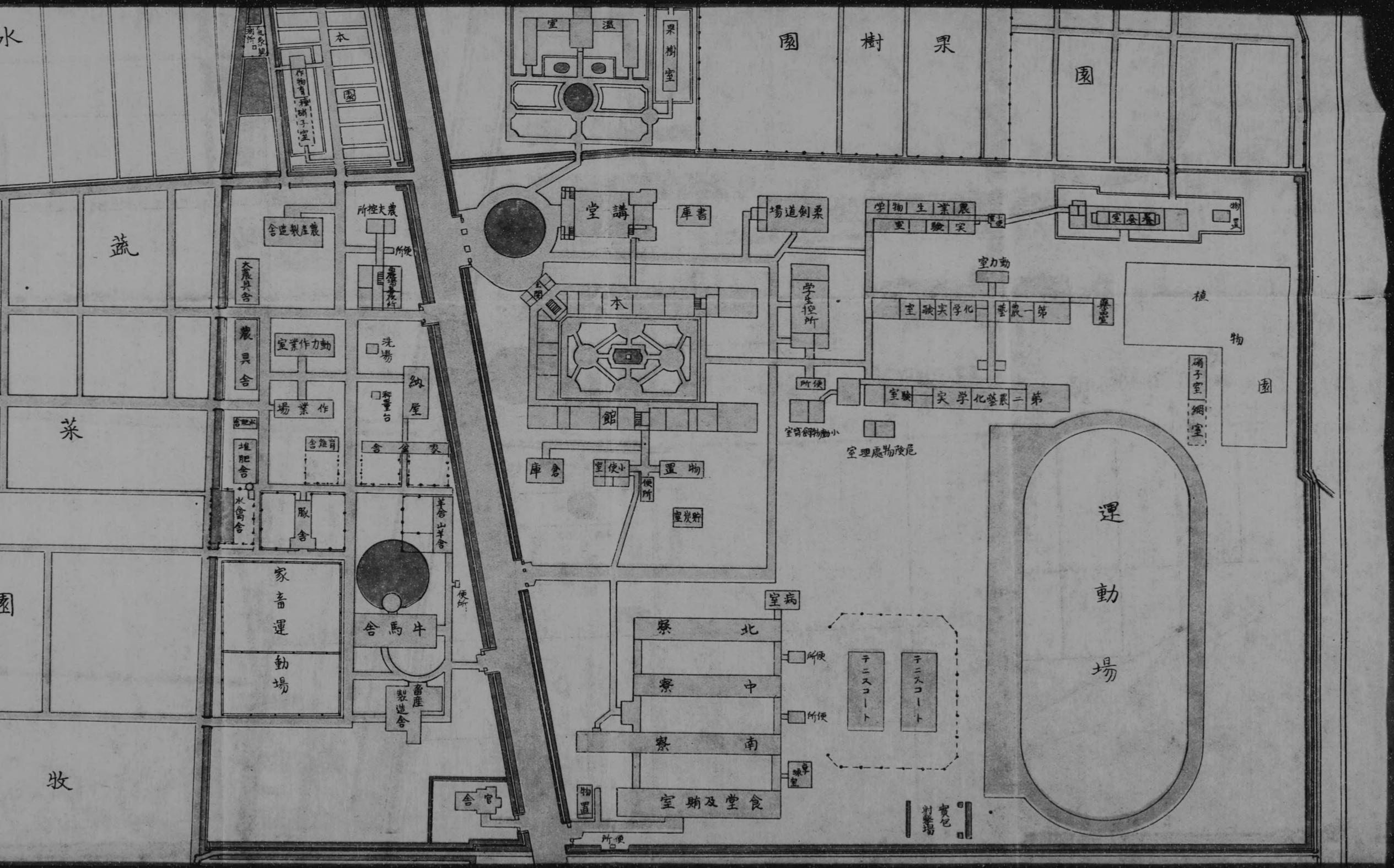
鳥取高等農業學校全圖

縮尺千貳百分之壹

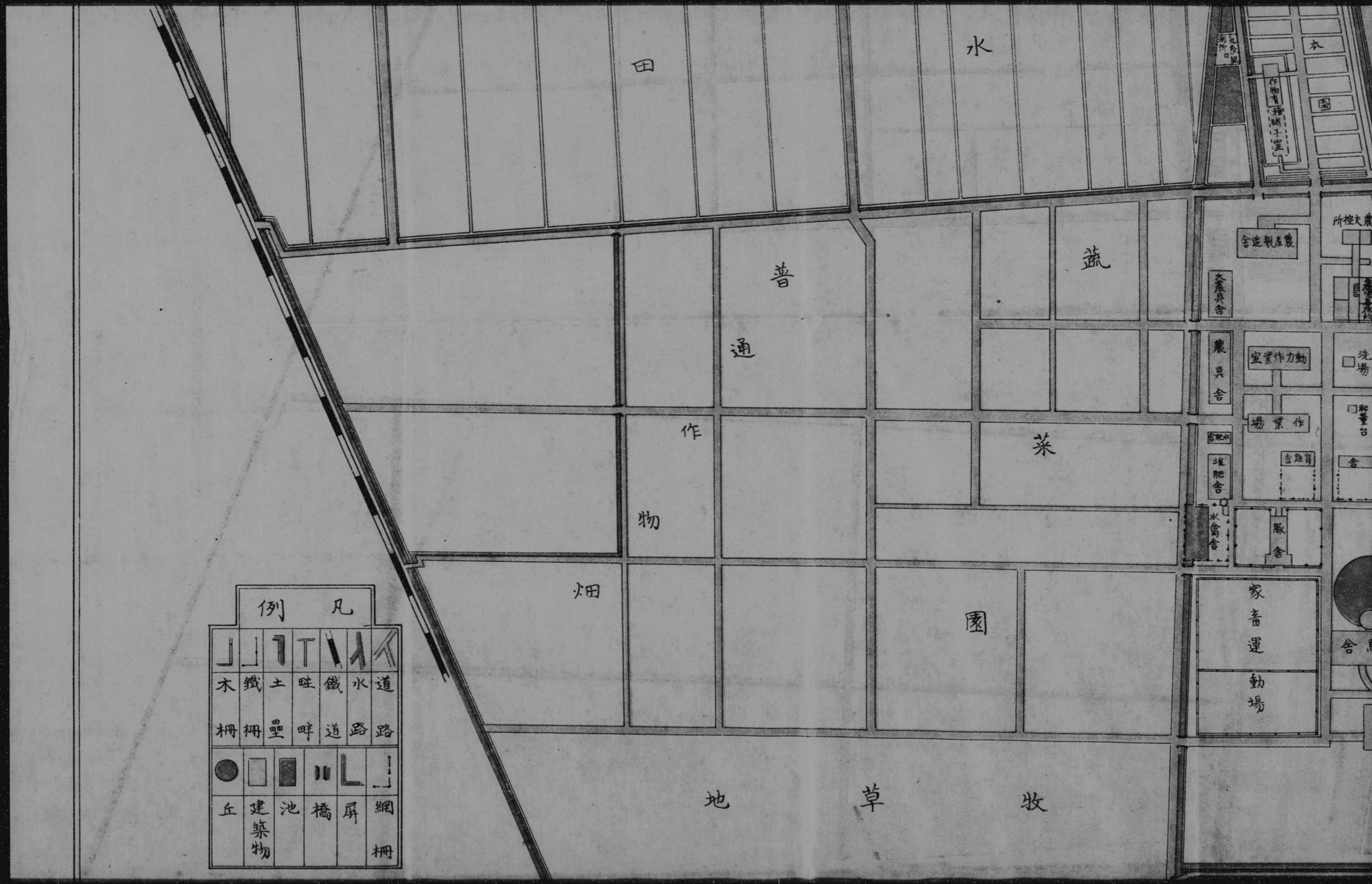


全圖

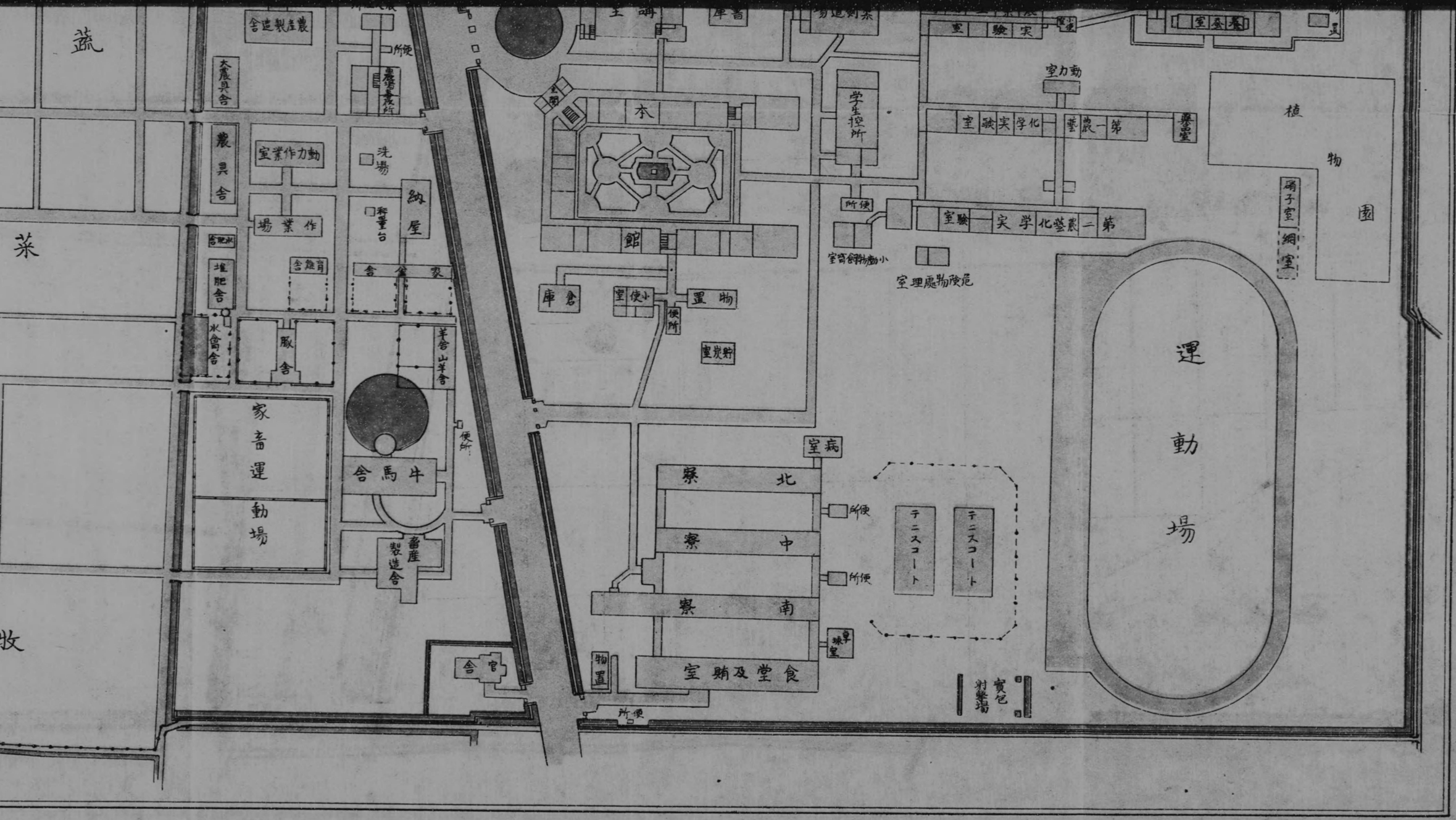
壹



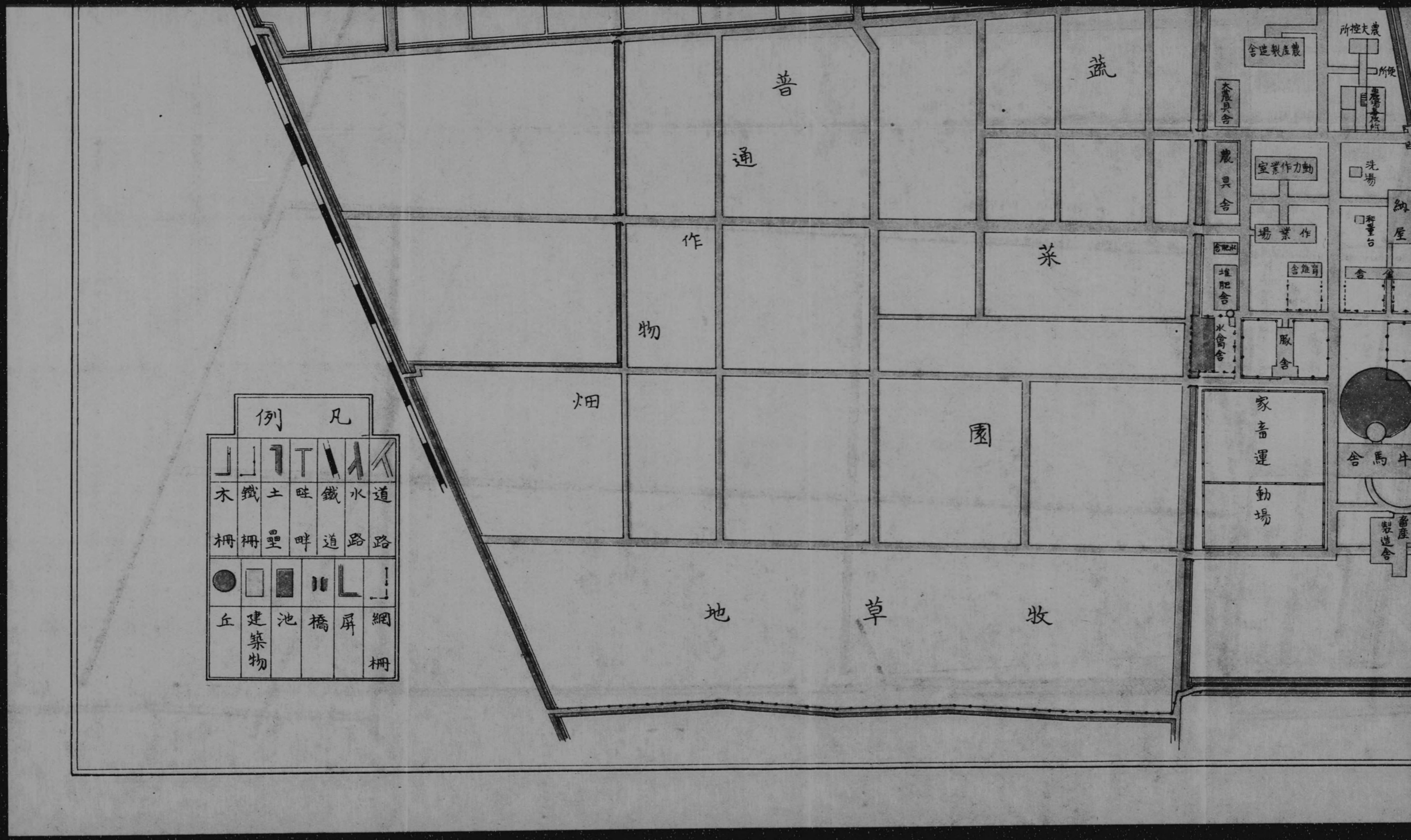
水
蔬
菜
園
牧
本園
作物育種硝子室
温室
果樹室
果樹園
園
講堂
書庫
柔劍道場
農業生物学
実験室
養蚕室
物置
動力室
植物園
硝子室
網室
第一農藝化学実験室
第二農藝化学実験室
学生控所
本館
小使室
物置
便所
倉庫
危険物處理室
小動物飼育室
運動場
病室
北寮
中寮
南寮
食堂及賄室
テニスコート
物置
官舎
農夫控所
農産製造舎
大農具舎
農具舎
動力作業室
洗場
納屋
作業場
育雞舎
堆肥舎
水禽舎
豚舎
羊舎
山羊舎
家畜運動場
牛馬舎
畜産製造舎



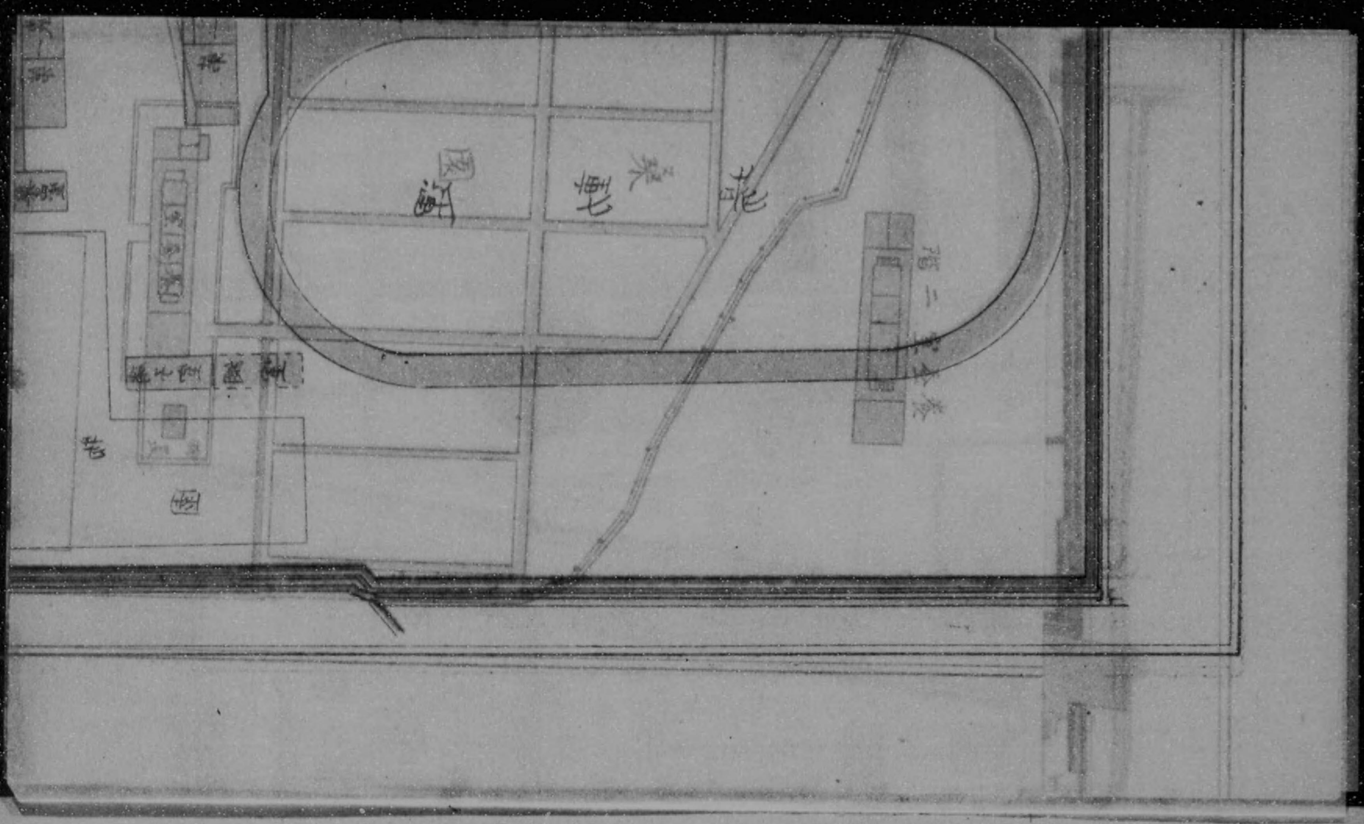
田
水
本
園
作物育種硝子室
農產製造舍
大農具舍
蔬
普
通
作
物
菜
農具舍
動力作業室
作業場
水肥舍
堆肥舍
育雞舍
水禽舍
豚舍
畑
園
家畜運動場
牧
草
地
凡例
道路
水路
鐵道
畦畔
土壘
鐵柵
木柵
網柵
屏
橋
池
建築物
丘



蔬
菜
牧
農産製造舎
大農具舎
農具舎
動力作業室
洗場
納屋
作業場
育雛舎
家畜舎
水肥舎
堆肥舎
豚舎
羊舎
山羊舎
家畜運動場
牛馬舎
畜産製造舎
官舎
本館
倉庫
小使室
物置
便所
貯炭室
学生控所
動力室
第一農藝化学実験室
第二農藝化学実験室
植物園
硝子室
網室
小動物飼育室
危険物處理室
運動場
病室
北寮
中寮
南寮
食堂及賄室
テニスコート
テニスコート
物置
實包射撃場



凡例
道路
水路
鐵道
畦畔
土壘
鐵柵
木柵
網柵
屏
橋
池
建築物
丘
普通作物
蔬菜園
畑
牧草地
農產製造舍
大農具舍
農具舍
動力作業室
作業場
堆肥舍
水禽舍
豚舍
家畜運動場
牛馬舍
畜產製造舍
洗場
納屋



昭和四年十一月三十日印刷
昭和四年十二月五日發行

鳥取高等農業學校

印刷人　前田芳治郎
鳥取縣鳥取市吉方町二百二十一番地

印刷所　前田印刷所
鳥取縣鳥取市吉方町二百二十一番地
電話八五四番

291
別冊
63